

小樽市の環境に関する
事業所アンケート調査
報 告 書
〈案〉

令和6年3月

目 次

I. 調査概要

1 調査目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収結果	1
6 その他	1

II. 集計結果

<問1> 貴事業所のことについて	2
<問2> 環境に関する取組の実施状況	10
<問3> 環境に対する充実希望度・重要度について	27
<問4> 市や地域などで進める環境保全に関する活動への参加・協力について	30
<問5> 取り組むべき環境施策について	32
<問6> 行政に期待する施策について	34
<問7> 事業所の利用エネルギーについて	35
<問8> 省エネ最適化診断について	39
<問9> 気候変動の影響への「適応」について	44
<問10> 持続可能な開発目標（SDGs）について	47
<問11> 環境に関する情報提供について	51
<問12> 環境に関するご意見について	52

I. 調査概要

1 調査目的

本アンケートは、環境保全への取組状況や小樽市の環境に関する意見などを「第2次小樽市環境基本計画」策定の参考とすることを目的に実施した。

2 調査対象

総務省から提供される市内事業所一覧から無作為に500事業所を抽出した。

3 調査期間

令和5（2023）年9月28日（金）～10月30日（月）

4 調査方法

直接郵送法（郵送による発送・回収）

5 回収結果

配付数	有効回収数	有効回収率
500	164 (総回収数 164－無効票 0)	32.8%

6 その他

- ・質問で指定された回答数を超えて回答しているものは無効回答とした。
- ・図中の「n」とは、回答者総数又は該当者質問の回答者数のことである。
- ・割合は百分率（%）で表示し、その小数第2位を四捨五入し端数処理とした。
- ・結果の数値は端数処理の関係で、単一回答であっても100%とならない場合がある。
- ・自由記述は、原文をそのまま記載した。
- ・クロス集計の結果については、特徴が見られたものについて整理した。

II. 集計結果

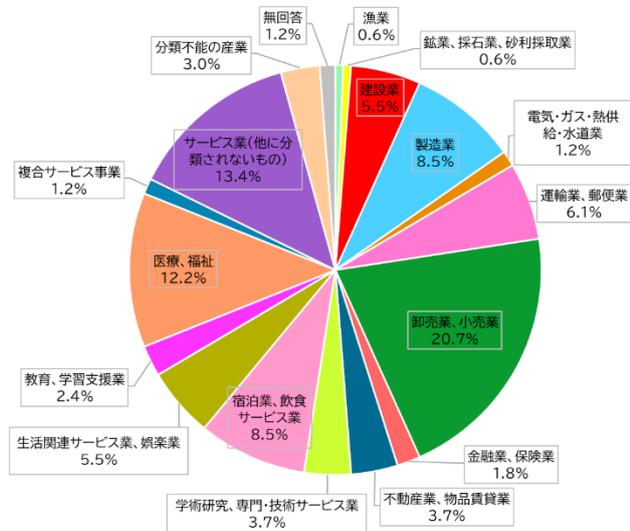
<問 1> 貴事業所のことについて

はじめに貴事業所のことについておたずねします。各項目から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。<業種・従業員数（会社全体・事務所）・事業所がある地区・事業所の所有形態>

【業種について】

事業所業種割合は、「卸売業、小売業」が20.7%で最も高く、次いで「サービス業(ほかに分類されないもの)」が13.4%、「医療、福祉」が12.2%、「製造業」と「宿泊業、飲食サービス業」が8.5%、「運輸業、郵便業」が6.1%、「建設業」と「生活関連サービス業、娯楽業」が5.5%、「不動産業、物品賃貸業」と「学術研究、専門・技術サービス業」が3.7%、「分類不能の産業」が3.0%、「教育、学習支援業」が2.4%、「金融業、保険業」が1.8%、「電気・ガス・熱供給・水道業」と「複合サービス業」が1.2%、「漁業」と「鉱業、採石業、砂利採取業」が0.6%、「農業、林業」と「情報通信業」の回答はなかった。

業種別	回答者数	割合
農業、林業	0	0.0%
漁業	1	0.6%
鉱業、採石業、砂利採取業	1	0.6%
建設業	9	5.5%
製造業	14	8.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	2	1.2%
情報通信業	0	0.0%
運輸業、郵便業	10	6.1%
卸売業、小売業	34	20.7%
金融業、保険業	3	1.8%
不動産業、物品賃貸業	6	3.7%
学術研究、専門・技術サービス業	6	3.7%
宿泊業、飲食サービス業	14	8.5%
生活関連サービス業、娯楽業	9	5.5%
教育、学習支援業	4	2.4%
医療、福祉	20	12.2%
複合サービス業	2	1.2%
サービス業（他に分類されないもの）	22	13.4%
分類不能の産業	5	3.0%
無回答	2	1.2%
合計	164	100%

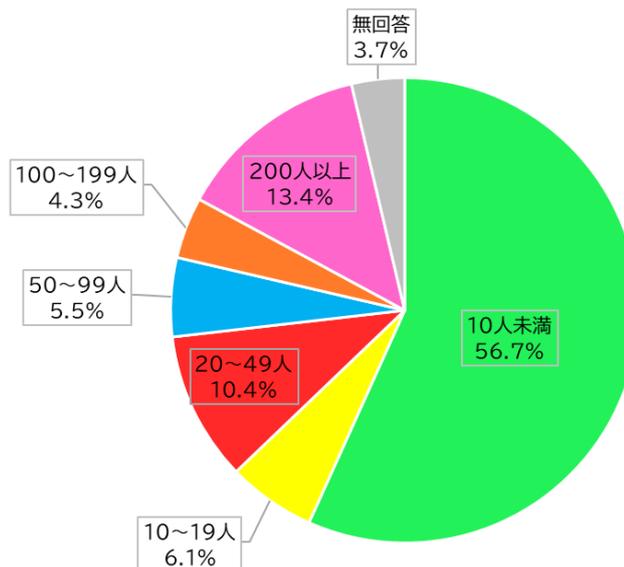


【従業員数について】

(1) 会社全体

会社全体の従業員数の割合は、「10人未満」が56.7%と最も高く、次いで「200人以上」が13.4%、「20～49人」が10.4%、「10～19人」が6.1%、「50～99人」が5.5%、「100～199人」が4.3%となっている。

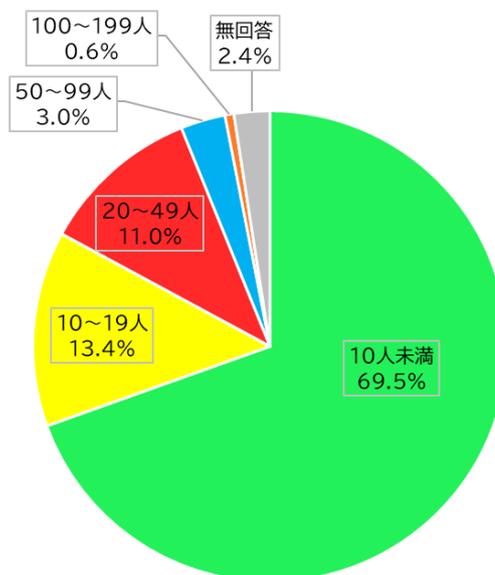
従業員数	回答者数	割合
10人未満	93	56.7%
10～19人	10	6.1%
20～49人	17	10.4%
50～99人	9	5.5%
100～199人	7	4.3%
200人以上	22	13.4%
無回答	6	3.7%
合計	164	100%



(2) 事業所

事業所の従業員数の割合は、「10人未満」が69.5%と最も高く、次いで「10～19人」が13.4%、「20～49人」が11.0%、「50～99人」が3.0%、「100～199人」が0.6%となっており、「200人以上」の回答はなかった。

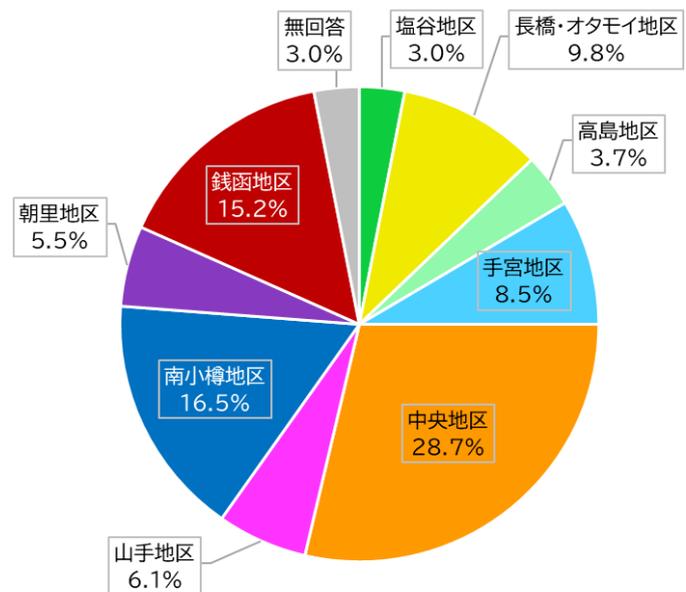
従業員数	回答者数	割合
10人未満	114	69.5%
10～19人	22	13.4%
20～49人	18	11.0%
50～99人	5	3.0%
100～199人	1	0.6%
200人以上	0	0.0%
無回答	4	2.4%
合計	164	100%



【事業所の所在地】

事業所所在地の割合は、「中央地区」が28.7%で最も高く、次いで「南小樽地区」が16.5%、「銭函地区」が15.2%、「長橋・オタモイ地区」が9.8%、「手宮地区」が8.5%、「山手地区」が6.1%、「朝里地区」が5.5%、「高島地区」が3.7%、「塩谷地区」が3.0%となっている。

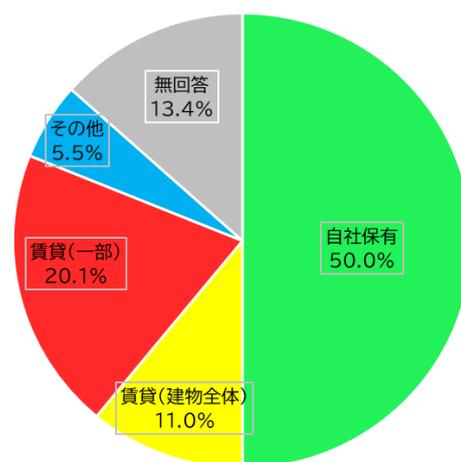
従業員数	回答者数	割合
塩谷地区	5	3.0%
長橋・オタモイ地区	16	9.8%
高島地区	6	3.7%
手宮地区	14	8.5%
中央地区	47	28.7%
山手地区	10	6.1%
南小樽地区	27	16.5%
朝里地区	9	5.5%
銭函地区	25	15.2%
無回答	5	3.0%
合計	164	100%



【事業所の所有形態】

事業所の所有形態割合は、「自社保有」が50.0%で最も高く、次いで「賃貸（一部）」が20.1%、「賃貸（建物全体）」が11.0%、「その他」が5.5%、無回答が13.4%となっている。

従業員数	回答者数	割合
自社保有	82	50.0%
賃貸（建物全体）	18	11.0%
賃貸（一部）	33	20.1%
その他	9	5.5%
無回答	22	13.4%
合計	164	100%



<問 1> 貴事業所のことについて

② 貴事業所の環境保全に関する認証取得や登録状況をおたずねします。各設問の3つの中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

環境保全に関する認証取得について、「取得済」と回答があった割合は「ISO14001 認証取得」が1.8%、「エコアクション21 認証登録」が0.6%、「HES（北海道環境マネジメントシステムスタンダード）認証取得」が0%、「環境報告書の作成・公表」が0.6%となっており、それぞれ「予定している」を含めても、5%に満たなかった。

特に回答者の大半を占める従業員数 10 人未満の事業所での認証取得の予定はほぼ無い。

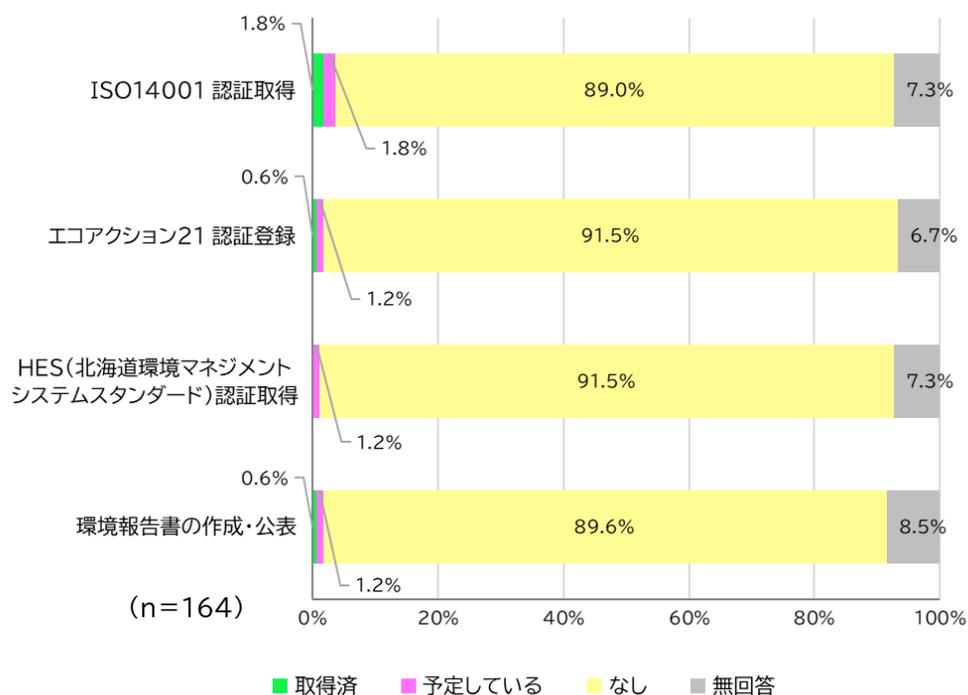
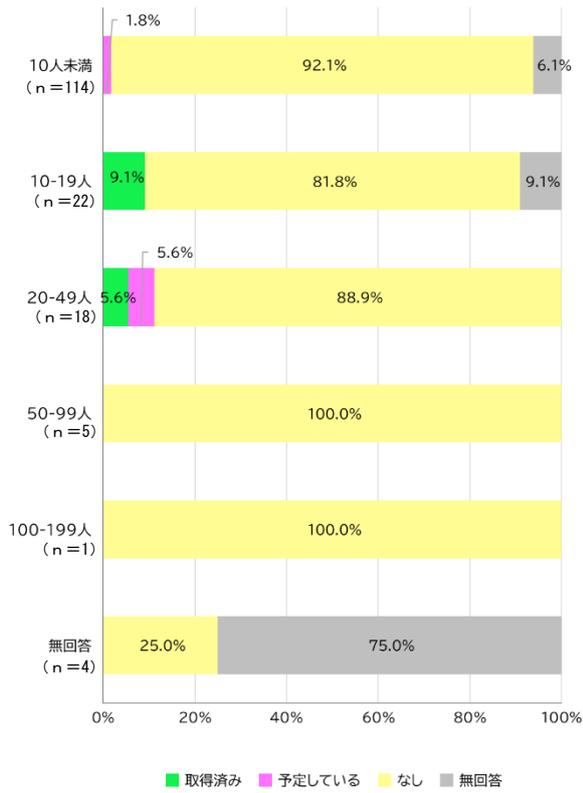
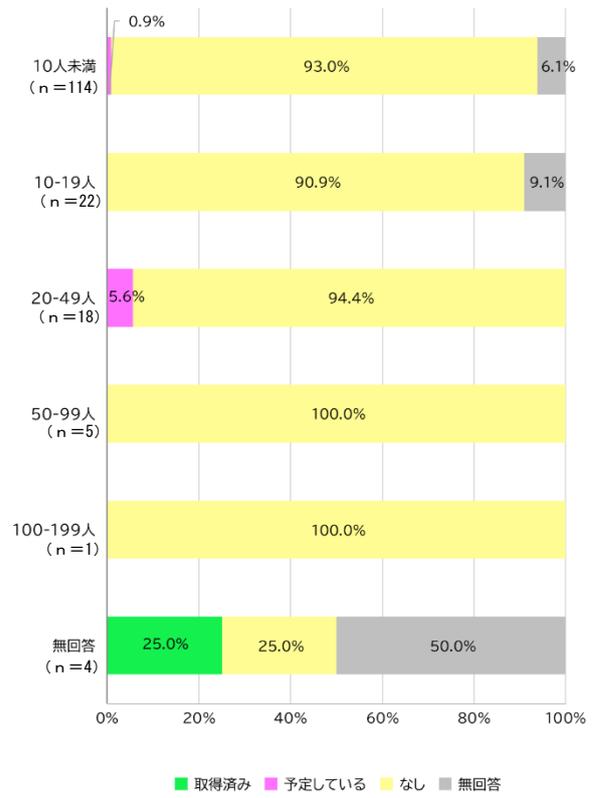


図 1-1 環境保全に関する認証取得について（全体）

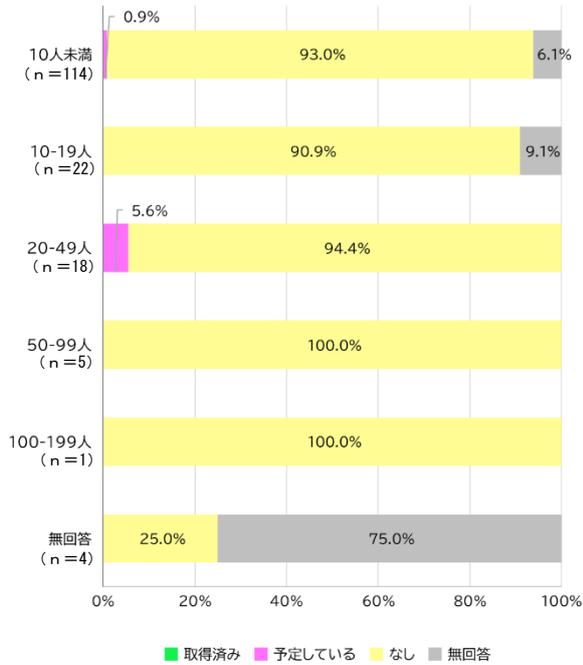
ISO14001 認証取得



エコアクション21 認証登録



HES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード) 認証取得



環境報告書の作成・公表

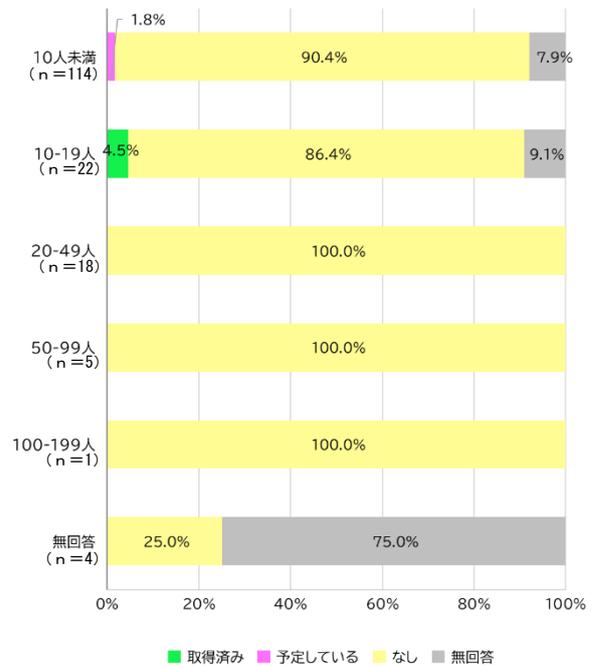


図 1-2 環境保全に関する認証取得について (事業所従業員数別)

＜問 1＞ 貴事業所のことについて

③ 以下の環境に関することの中で、貴事業所として関心を持っているものは何ですか。次の中から当てはまるもの全てを選び、○をつけてください。

「ごみを減らす・資源を大切に使う（リサイクル）こと」が64.6%で最も高く、次いで「空気をきれいに保つこと」が36.6%、「適切な生活環境（騒音、振動、悪臭等）」が33.5%、「廃棄物処理問題等に関すること」が32.9%、「地球温暖化・気候変動に関すること」が30.5%、「水をきれいに保つこと」が27.4%、「再生可能エネルギーを作る・使うこと」が18.3%、「海・陸の豊かさ（生物多様性）を保つこと」が17.7%、「山や山林を回復させ、保つこと」が10.4%、「その他」が2.4%となっている。

比較的関心が低かった「再生可能エネルギーを作る・使うこと」に関しては、普及啓発により関心を高めることで導入も進むと考えられる。

「山や山林を回復させ、保つこと」や「海・陸の豊かさ（生物多様性）を保つこと」は関心が低いですが、本市は山林を多く有しているため、情報発信等を推進し、事業者の意識向上を図る必要があると考えられる。

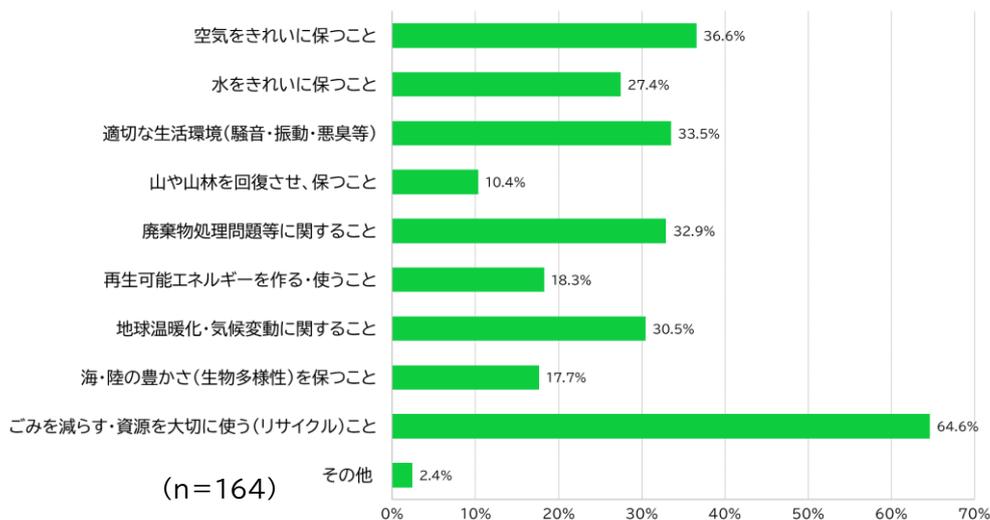


図 1-3 環境に関して関心をもっているもの（全体）

● 「その他」の回答

- ・町を歩いていると空き缶、ペットボトルなどが多く散乱している。市議員に拾わせたら。
- ・可能な限り町内のゴミステーションを活用できるよう、利用者の方々と分別を行っている。

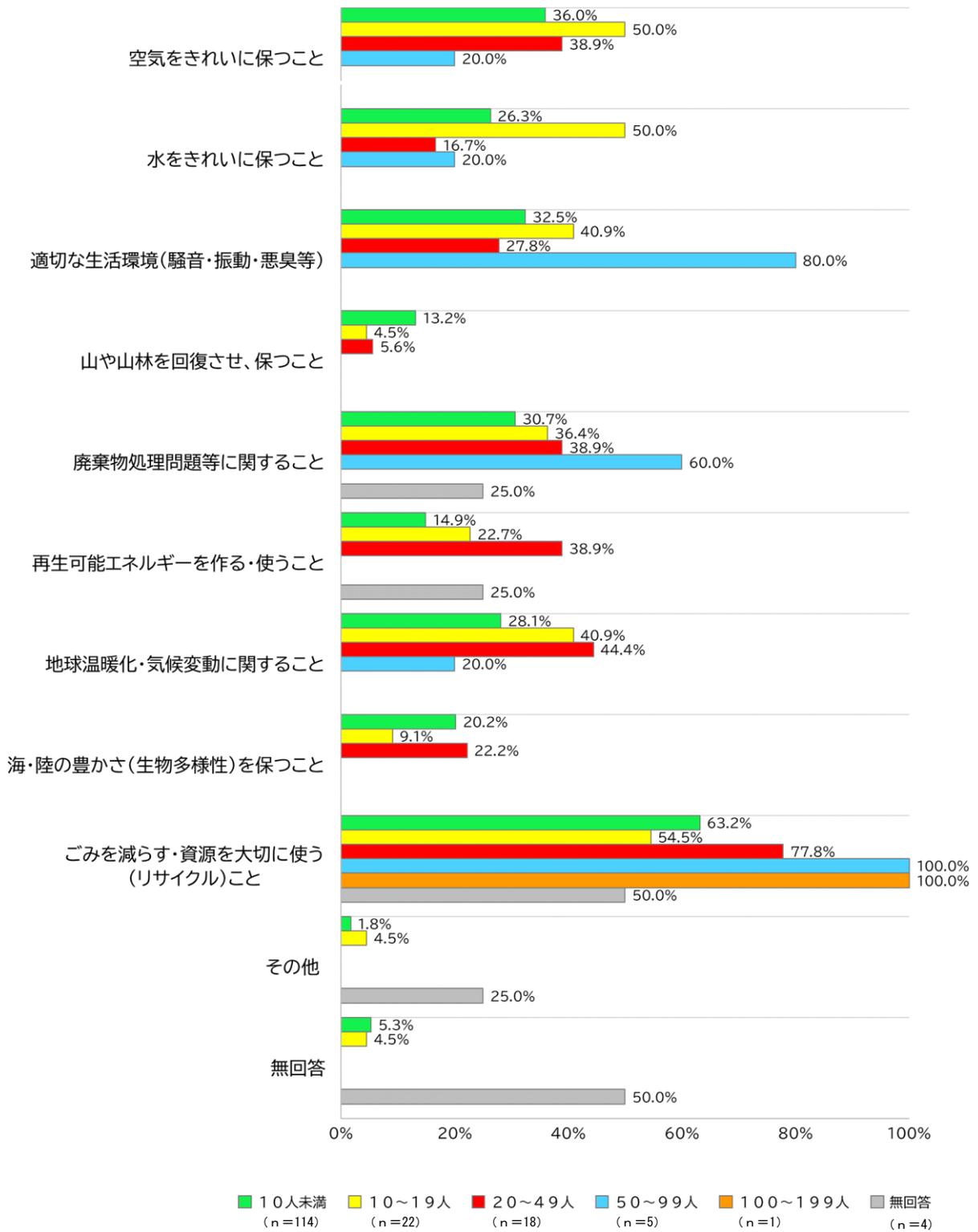


図 1-4 環境に関して関心をもっているもの（事業所従業員数別）

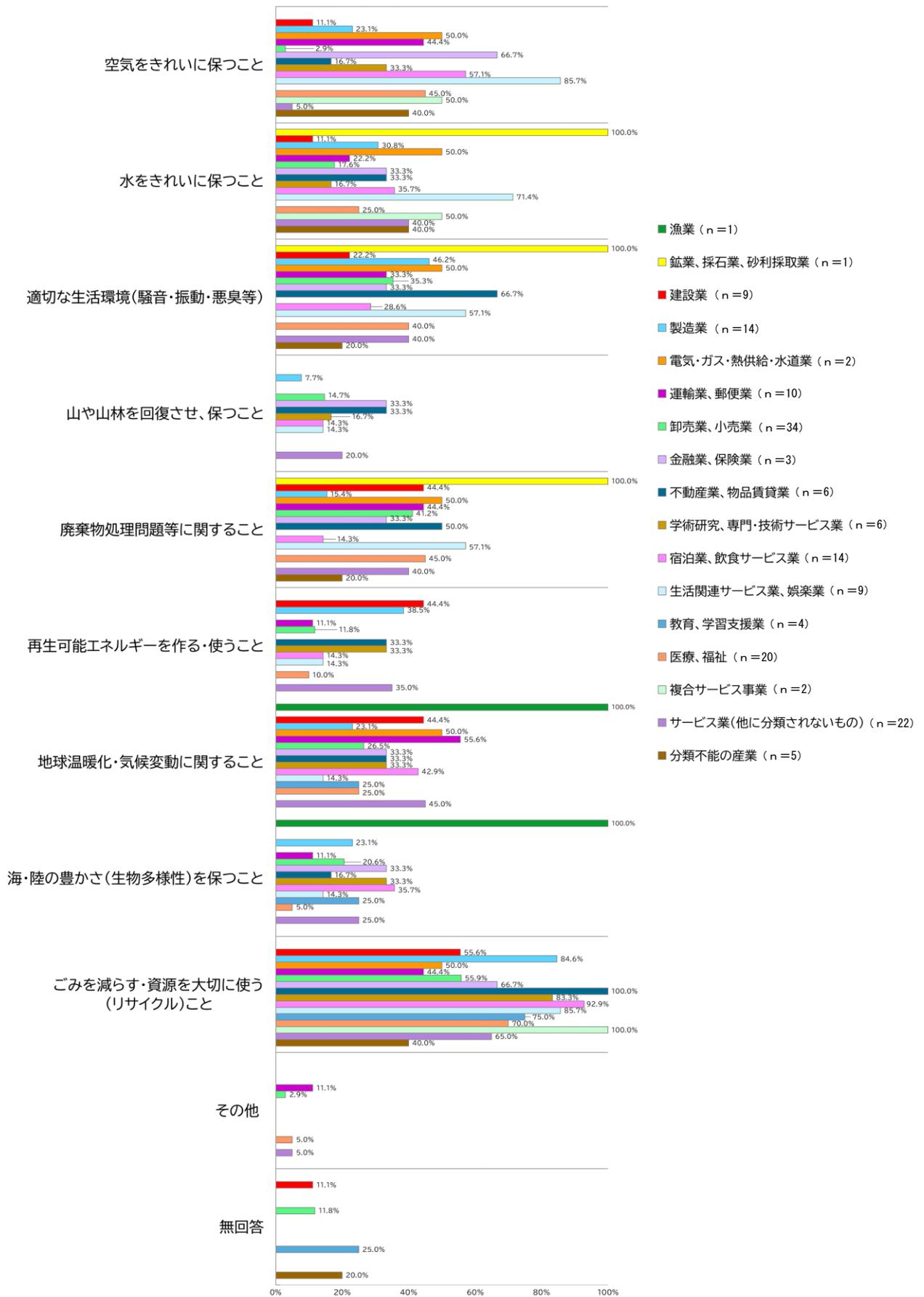


図 1-5 環境に関して関心をもっているもの（業種別）

＜問2＞ 環境に関する取組の実施状況

- ① 貴事業所における、環境に関する取組の実施状況について、各設問の5つの中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。なお、「4 実施していない」とお答えいただいた方は、その主な理由を下欄の番号から1つ選び、ご記入ください。

「積極的に実施している」及び「部分的に実施している」と回答した事業者は、「ごみの分別やリサイクル」が87.8%で最も高く、次いで「事業所内の省エネルギーの推進（節電・節水など）」が84.7%、「ごみの減量化」が68.3%、「ペーパーレス化の推進」が64.6%、「クールビズ・ウォームビズの推進」が63.4%であった。「実施していないが、今後検討したい」と回答した事業者は、「地域の環境保全活動（美化活動・植樹への募金等）などへの参加」が26.8%で最も高く、次いで「事業活動に関わる環境目標や環境保全ガイドラインなどの設定」が26.2%、次いで「従業員に対する環境教育」が24.4%となっている。

一方で、「実施していない」と回答した事業者は、「事業活動に関わる環境目標や環境保全ガイドラインなどの設定」が34.1%で最も高く、次いで「フードドライブ・フードバンクの参加」が32.9%、「在宅勤務やリモート会議」が32.3%であった。「実施していない」理由は、どの項目も「ノウハウが不足しているから」の選択肢が最も多く選ばれているが、「ペーパーレス化の推進」、「エコマーク製品などの購入」、「事業所・工場内の緑化」、「地域の環境保全活動（美化活動・植樹への募金など）への参加」については「費用負担が大きいから」という理由も多い。

実施率が低い取組については、実施しない理由に沿った対策を行う必要があると考えられる。「ノウハウが不足しているから」と回答があった取組については、重点的に情報発信を行うことが効果的であると考えられる。

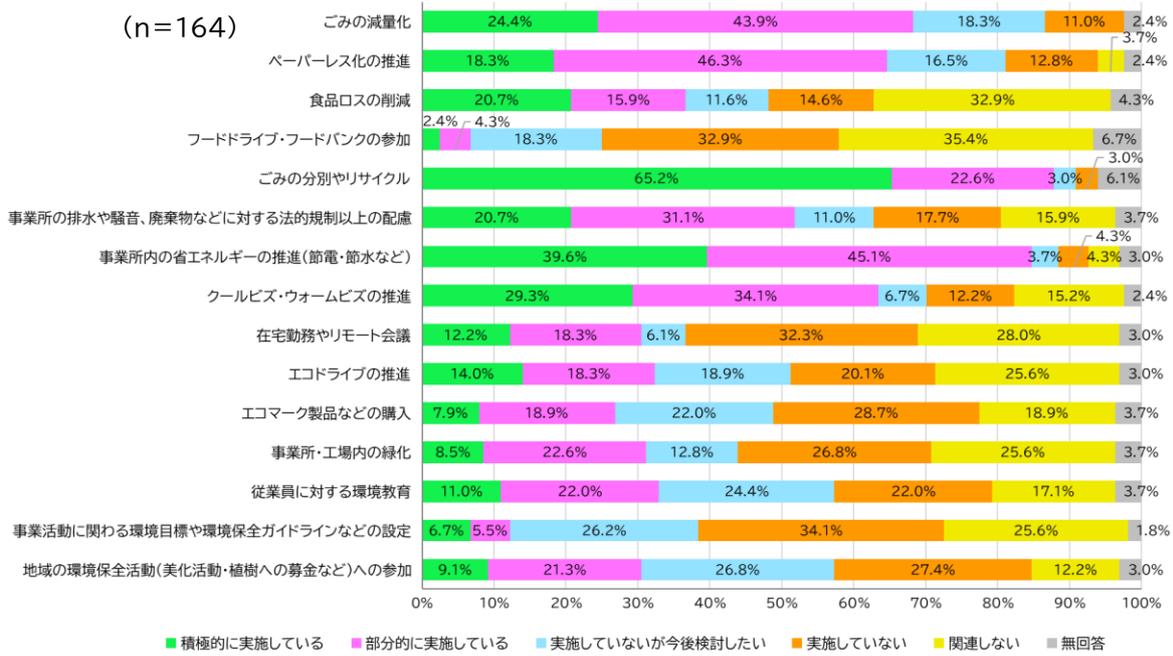


図 2-1 環境に関する取組の実施状況 (全体)

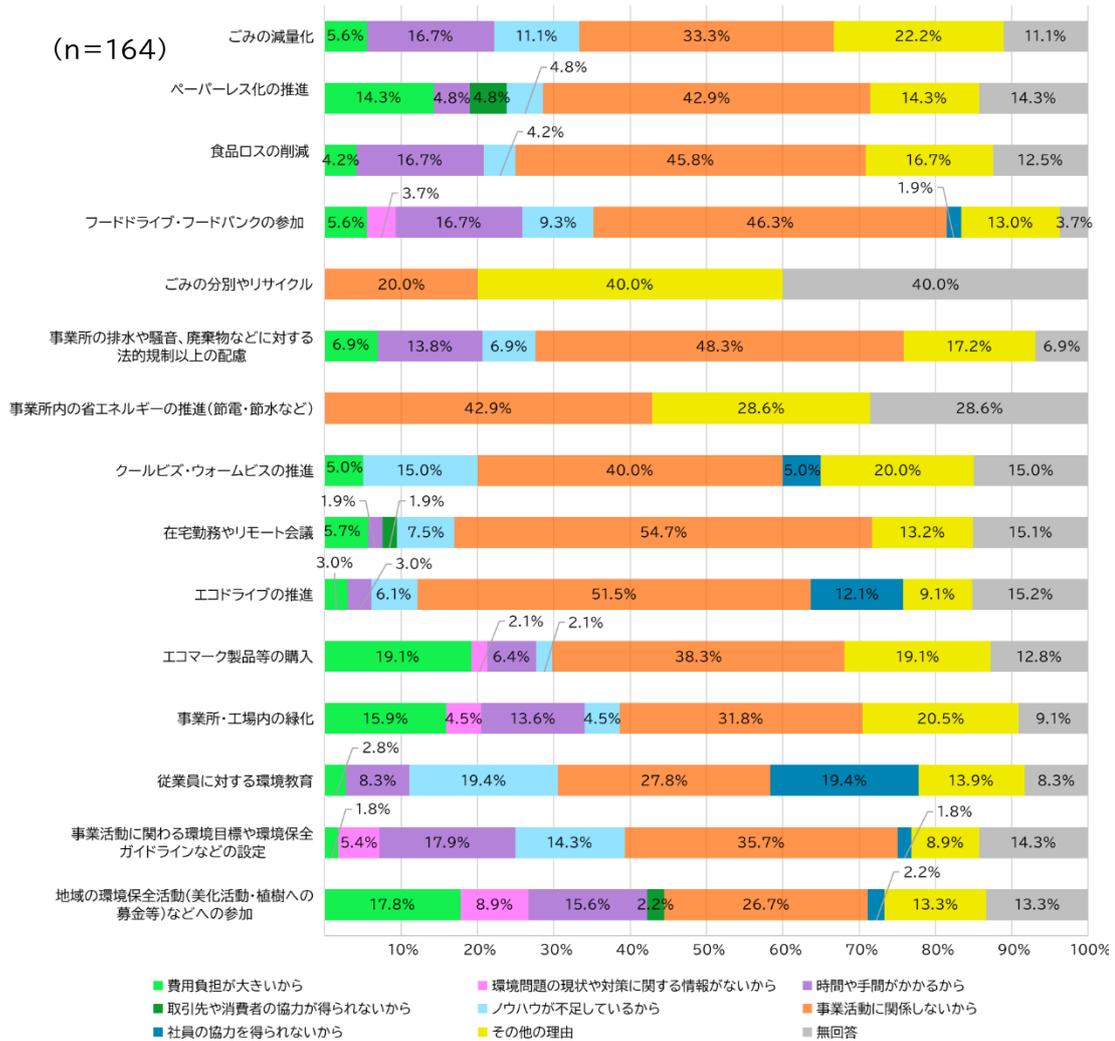


図 2-2 実施していない理由 (全体)

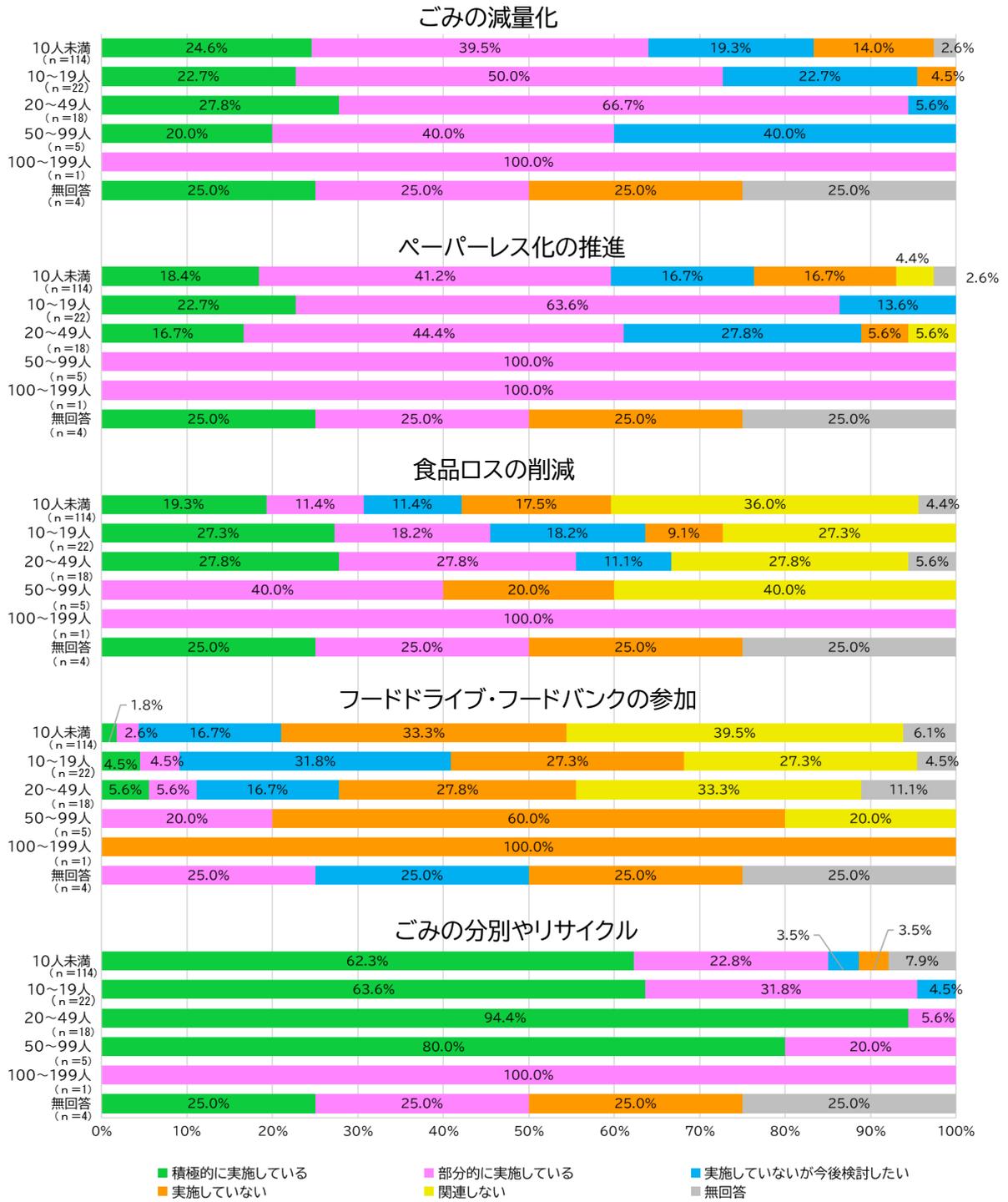


図 2-3 環境に関する取組の実施状況（事業所従業員数別） 1 / 3

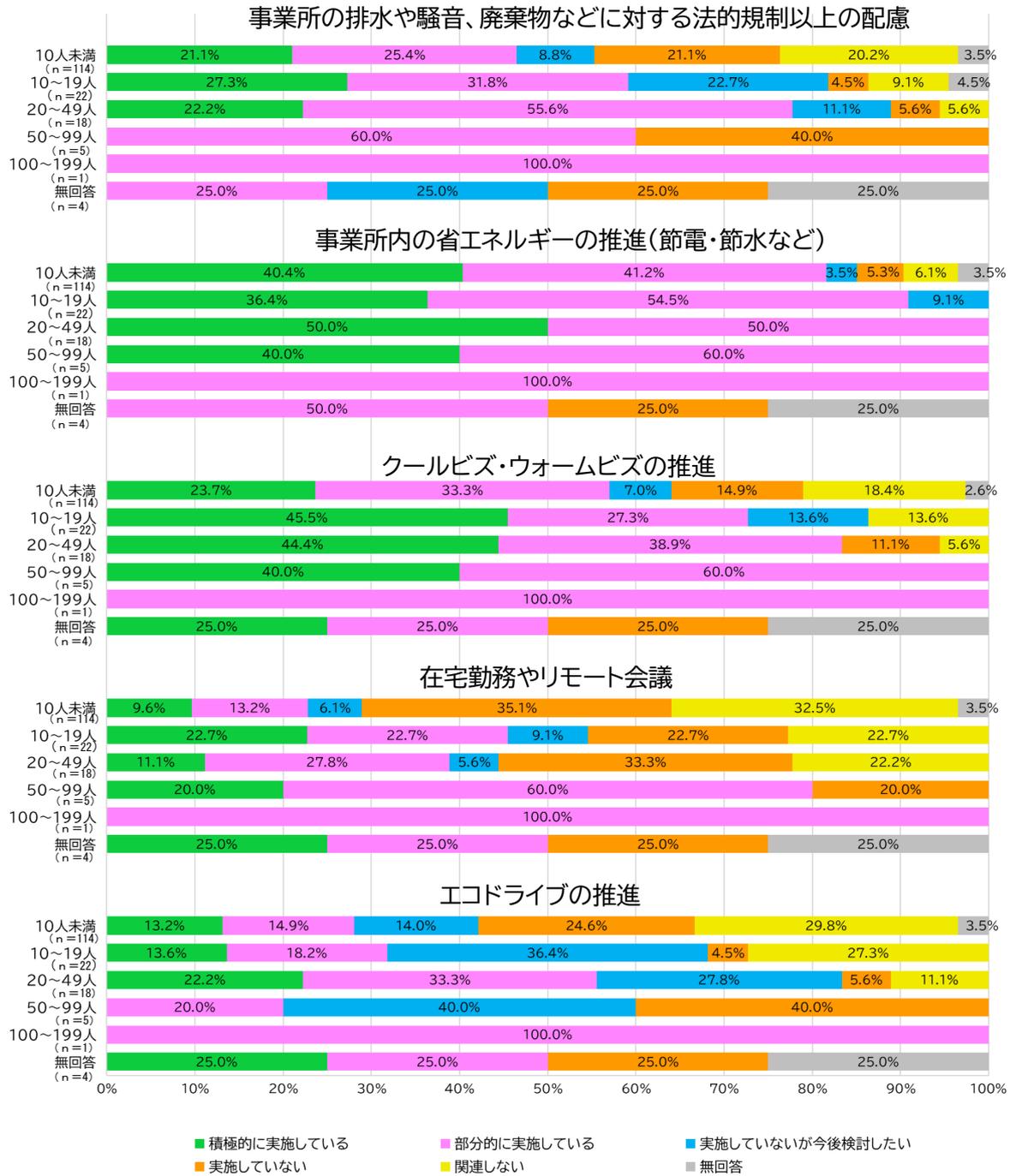


図 2-3 環境に関する取組の実施状況（事業所従業員数別） 2/3

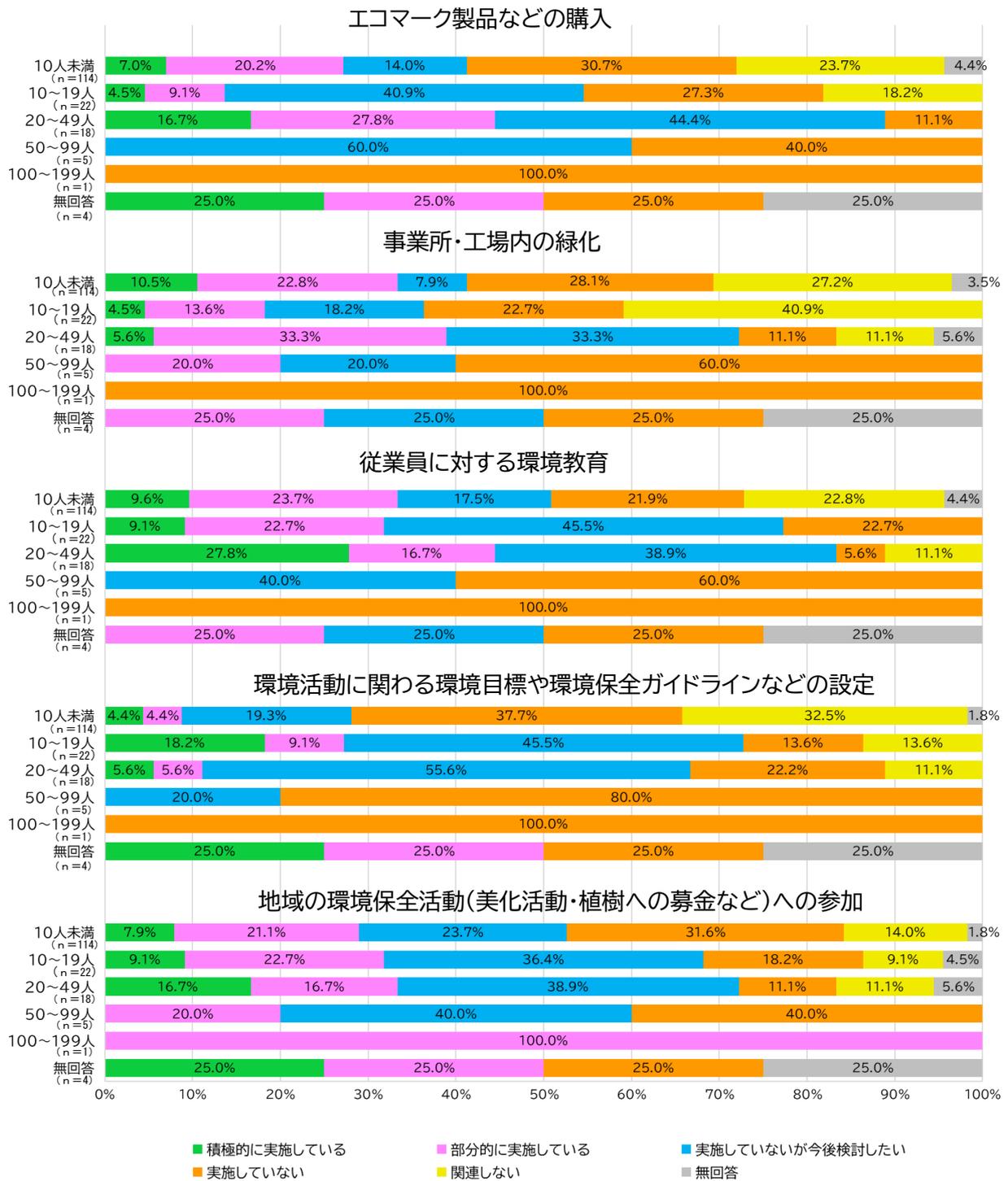


図 2-3 環境に関する取組の実施状況（事業所従業員数別） 3/3

＜問 2＞ 環境に関する取組の実施状況

② 省エネルギー・再生可能エネルギー設備等の導入状況について、各設問の4つの中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。なお、「4 導入する予定はない」とお答えいただいた方は、その主な理由を下欄の番号から1つ選び、○をつけてください。

「LED 照明などの高効率照明」が 69.5%、次いで「建物の断熱化（断熱材・ペアガラスなど）」が 21.3%、「次世代自動車（ハイブリッド自動車(HV)）」が 12.2%、「再エネ電力を供給する電力会社との契約」が 10.4%となっている。

「4 導入する予定はない」と回答した主な理由については、「費用負担が大きいから」、「事業活動に関係しないから」、「賃貸であるから」、「取り組む必要性を感じないから」と続く。

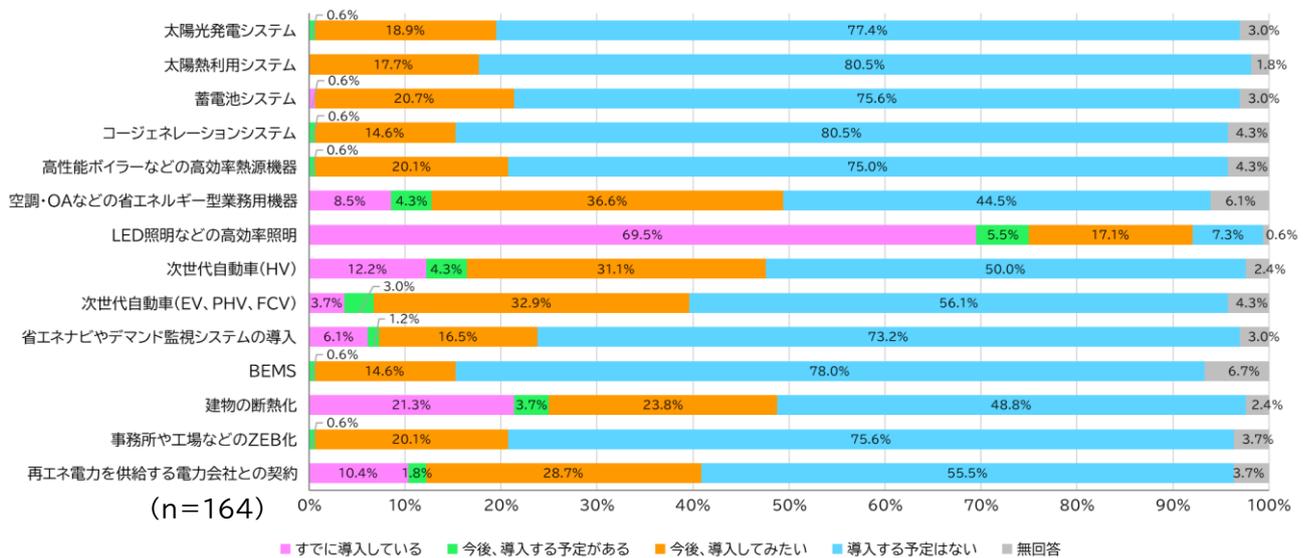


図 2-4 省エネルギー・再生可能エネルギー設備等の導入状況について（全体）

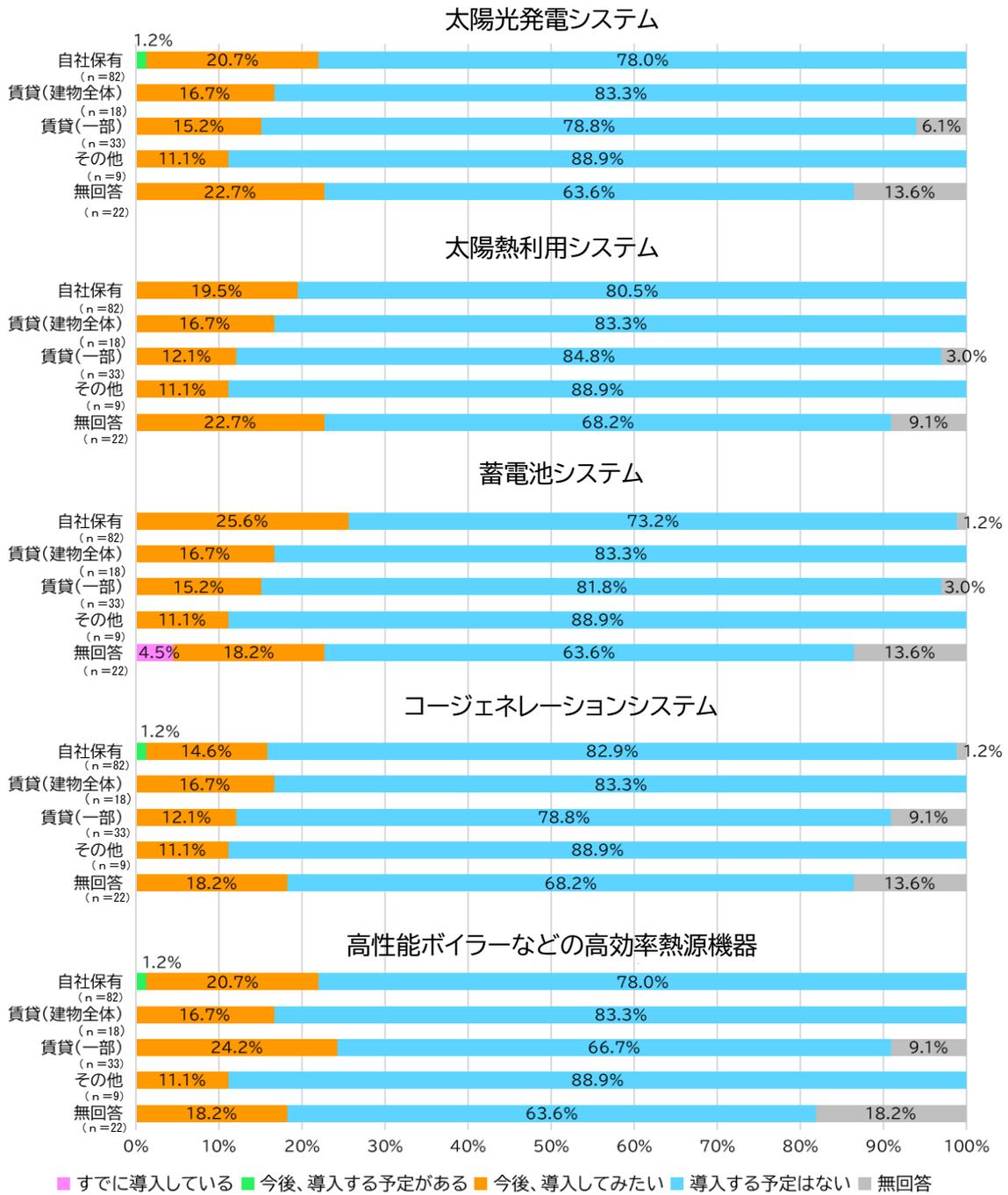


図 2-5 省エネルギー・再生可能エネルギー設備等の導入状況について（所有形態別） 1/ 3

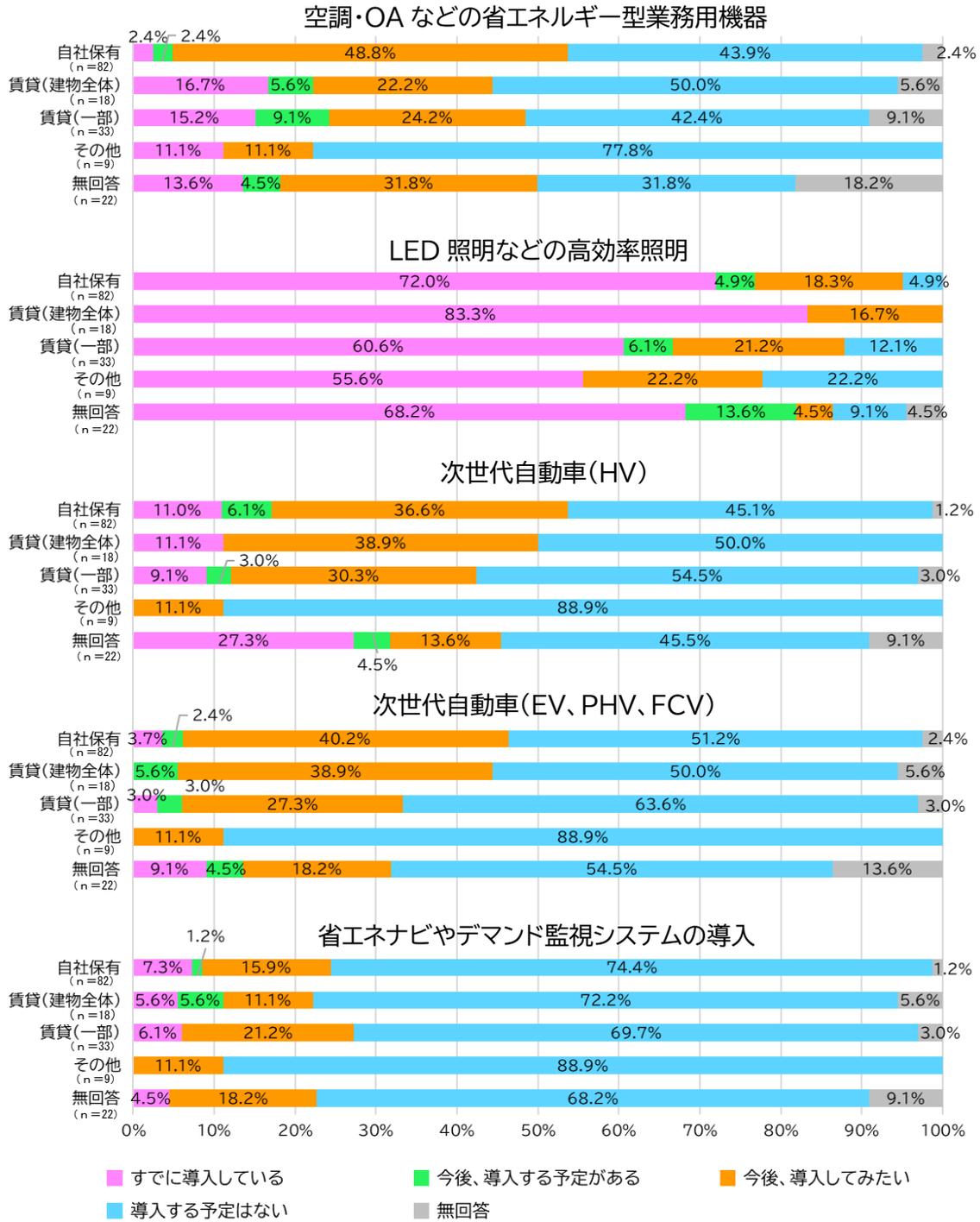


図 2-5 省エネルギー・再生可能エネルギー設備等の導入状況について（所有形態別） 2/3

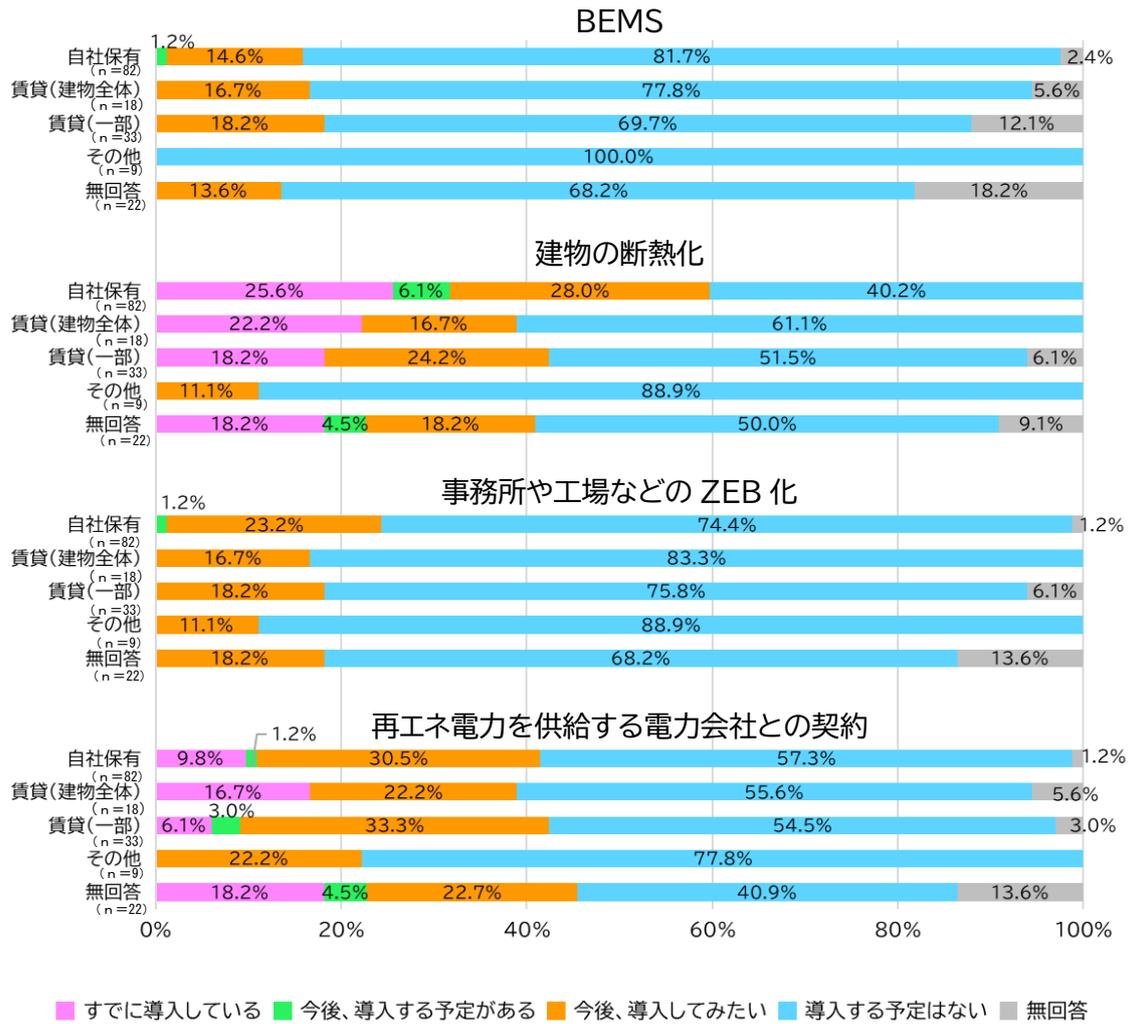


図 2-5 省エネルギー・再生可能エネルギー設備等の導入状況について（所有形態別） 3 / 3

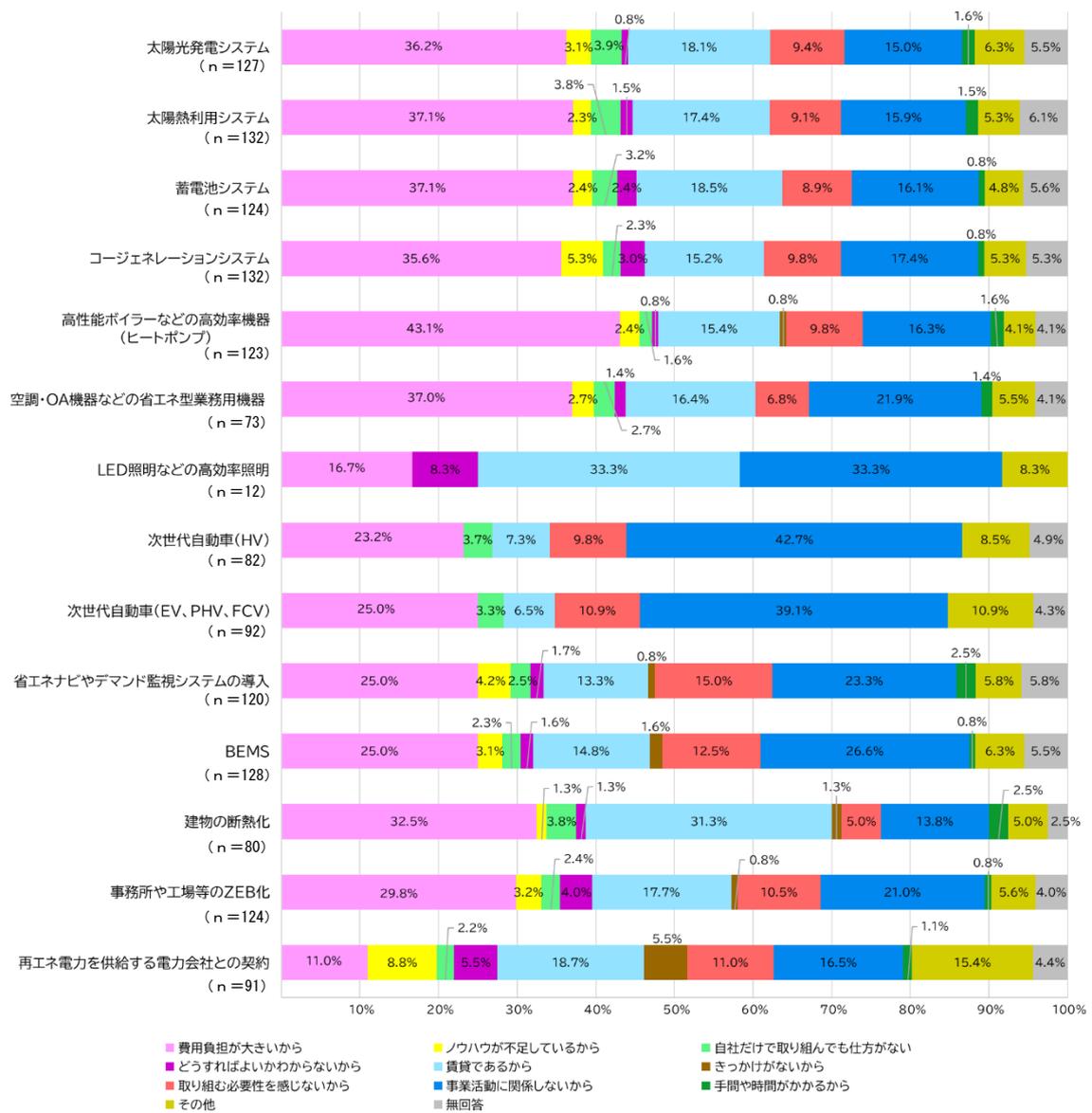


図 2-6 導入する予定がない理由（全体）

<問 2> 環境に関する取組の実施状況

- ③ Q2② (7) LED 照明の質問について、事業所内ですでに LED 照明を導入している場合、その導入率は概ねどれくらいですか。次の中から当てはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。

「80%以上 100%未満」と回答した事業者が 39.5%で最も高く、次いで「50%以上 80%未満」が 21.9%、「100%」が 18.4%、「20%以上 50%未満」が 9.6%、「20%未満」が 8.8%となっている。

事業所従業員数別では、いずれの規模においても「80%以上 100%未満」と回答した事業者が最も多く、50人以上の事業者では「100%」と回答した事業者は無い。

導入率 80%以上の回答は 5 割を超える。導入率 50%未満の事業所 (18.4%) の LED 照明更新を促進することで、導入率の底上げにつながると考えられる。

項目	回答者数	割合
20%未満	10	8.8%
20%以上 50%未満	11	9.6%
50%以上 80%未満	25	21.9%
80%以上 100%未満	45	39.5%
100%	21	18.4%
無回答	2	1.8%
	114	100%

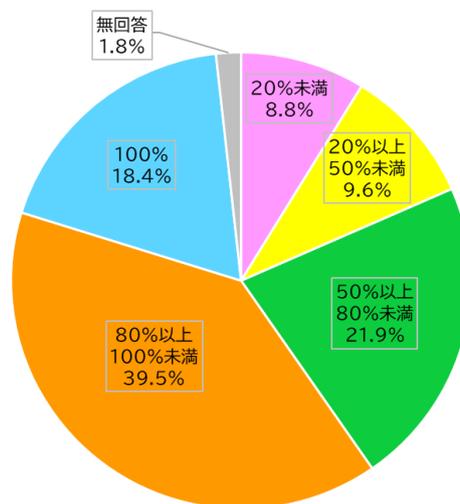


図 2-7 事業所内での LED 照明導入率 (全体)

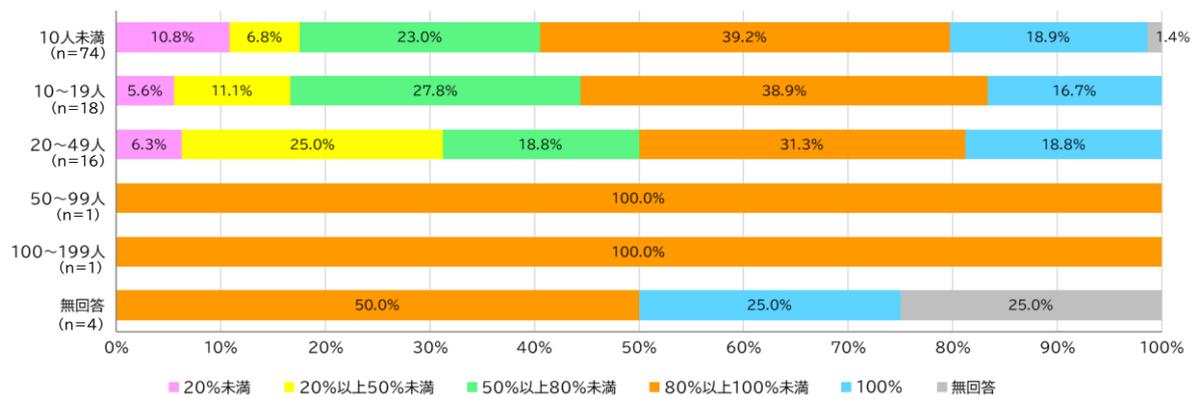


図 2-8 事業所内での LED 照明導入率(事業所従業員数別)

＜問2＞ 環境に関する取組の実施状況

④ 貴事業所の温室効果ガス排出量について把握していますか。次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

「把握していない・今後もしない」と回答した事業者が46.3%で最も高く、次いで「把握していないが、今後把握したい」が36.6%、「ある程度把握している」が9.1%、「十分に把握している」が4.9%となっている。

事業所従業員数別によると、50人以上の事業者では「十分に把握している」または「ある程度把握している」と回答した事業者は無い。

項目	回答者数	割合
十分に把握している	8	4.9%
ある程度把握している	15	9.1%
把握していないが、今後把握したい	60	36.6%
把握していない・今後もしない	76	46.3%
無回答	5	3.0%
	164	100%

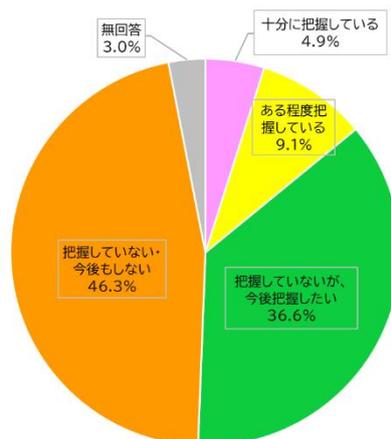


図 2-9 事業所の温室効果ガス排出量を把握しているか（全体）

● 把握していない・今後もしないの理由

- ・一度は把握してみたいと考えている。
- ・廃業予定なので。
- ・事務所のみなので。
- ・地球に影響が無いから。
- ・方法がわからない。
- ・小事務所で賃貸だから。
- ・必要性を感じない。
- ・使用なし。
- ・手間・費用の問題。
- ・個人宅の一部なので。
- ・1,2年で会社を閉める予定。
- ・工場ではないので。
- ・小規模のため、環境に影響しない。
- ・賃貸のため。
- ・ノウハウがない。
- ・把握していない。
- ・時間がかかるから。
- ・必要ない。
- ・無関係
- ・大きな事業所ではないから。

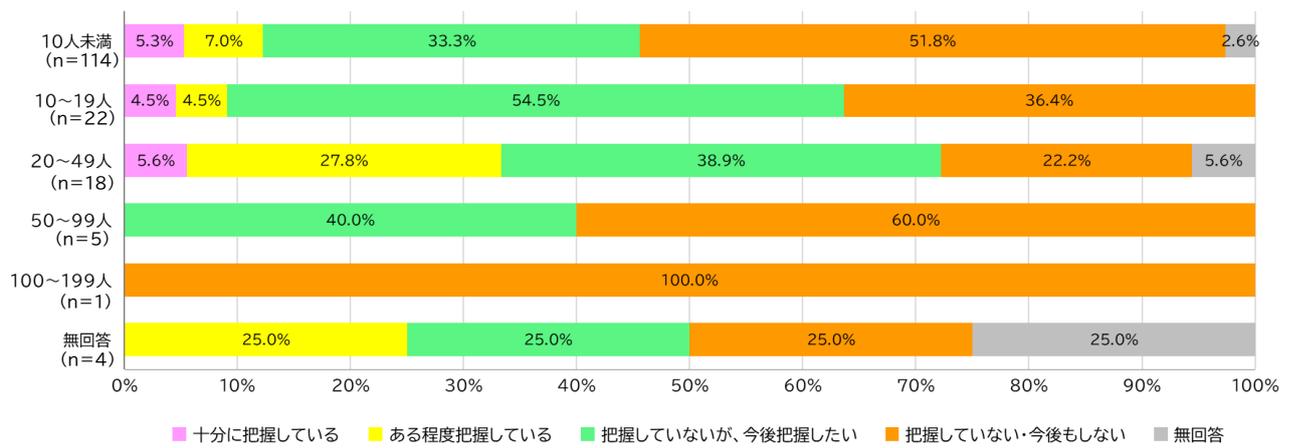


図 2-10 事業所の温室効果ガス排出量を把握しているか（事業所従業員数別）

＜問 2＞ 環境に関する取組の実施状況

⑤ 貴事業所では温室効果ガス排出量の削減目標を設定していますか。次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

「設定もしていないし、今後もしない」と回答した事業者が 65.2%で最も高く、次いで「設定していないが今後する予定である」が 29.3%、「設定している」が 3.7%となっている。

事業所従業員数によると、50 人以上の事業者で「設定している」と回答した事業者は無い。

項目	回答者数	割合
設定している	6	3.7%
設定していないが今後する予定である	48	29.3%
設定もしていないし、今後もしない	107	65.2%
無回答	3	1.8%
	164	100%

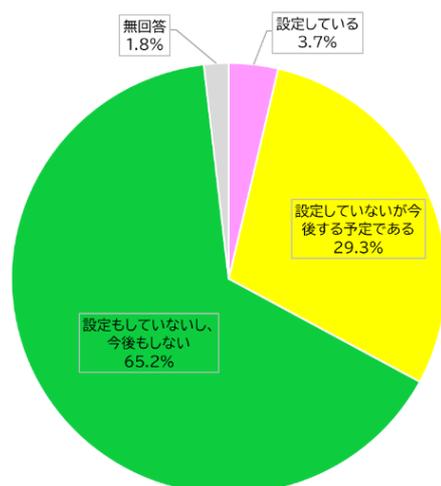


図 2-11 温室効果ガス排出量の削減目標の設定について（全体）

● 設定もしていないし、今後もしないの理由

- ・ 廃業予定なので。
- ・ 事務所のみななので。
- ・ 地球に影響が無いから。
- ・ ノウハウが不足しているから。
- ・ 事務所が賃貸だから。
- ・ 必要性を感じない。
- ・ 使用なし。
- ・ 設備投資の予算なし。
- ・ 自宅を兼ねているので事業と分けられない部分もある。
- ・ 大きな事業所ではないから。
- ・ 設定は困難。
- ・ 漠然と気をつけているだけで、そもそも排出量の計測方法もわからない。
- ・ 工場ではないので。
- ・ 小規模のため、環境に影響しない。
- ・ 排出量の計り方がわからない。
- ・ 賃貸のため。
- ・ 把握していない。
- ・ 時間がかかるから。
- ・ 手間がかかるから。
- ・ 無関係。

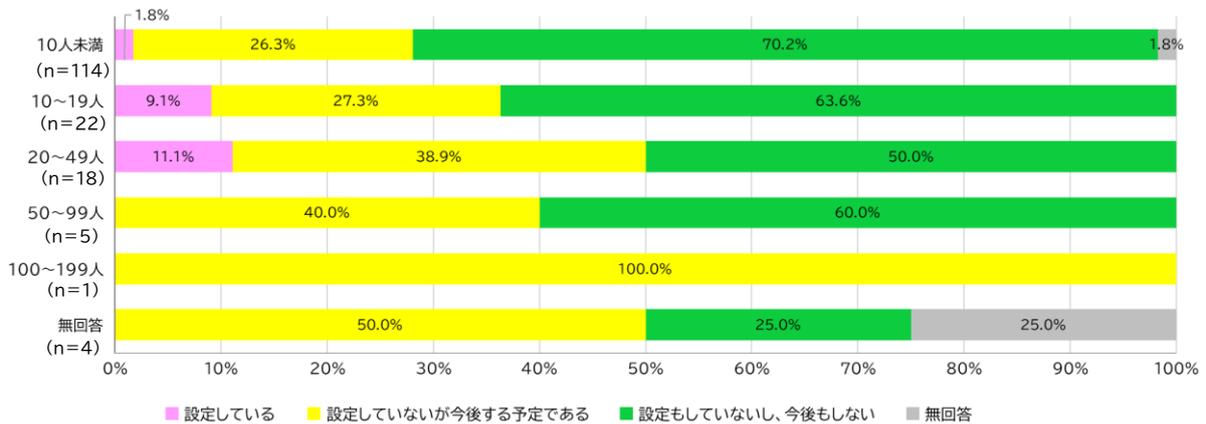


図 2-12 温室効果ガス排出量の削減目標の設定について（事業所従業員数別）

＜問 2＞ 環境に関する取組の実施状況

⑥ 貴事業所で環境に関する取組を行う理由を教えてください。（複数回答可）

「周辺市民と良好な関係を維持するため」が 45.1%と最も多く、次いで「事業者の責任として」が 44.5%、「事業所のイメージアップのため」が 25.0%、「省エネルギーやリサイクルはコスト削減につながるため」が 24.4%、「法的規制を守るため」が 22.0%、「今のところ環境問題には取り組んでいない」が 18.9%となっている。

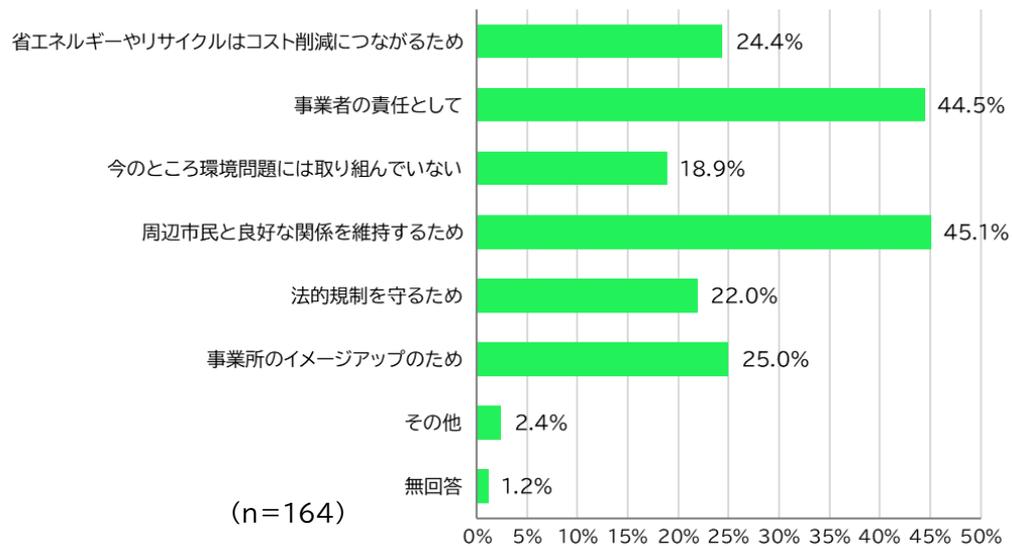


図 2-13 環境に関する取組を行う理由（全体）

● その他の回答

- ・一人事業で年齢的な事もあり、閉店を考え乍ら仕事を続けています。
- ・個人での運営のため、駅前緑化への流れをつくる程度。
- ・人として。

＜問3＞ 環境に対する充実希望度・重要度について

小樽市の環境に関する各分野の各設問について、どのように評価していますか。各設問の「充実希望度」、「重要度」それぞれ5つの中から番号を1つずつ選び、○をつけてください。

「大気汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな空気が確保されている」、「水質汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな川や海が確保されている」、「土壌汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな土や地下水が確保されている」、「文化財や優れた歴史的な遺産が適切に保全されている」などについては、充実希望度、重要度ともに高く、重点的に取り組むべき項目と考えられる。

「地球環境温暖化対策の取組に民間事業者を誘導する仕組みが実現されている」、「エネルギーの地産地消を見据えた再生可能エネルギーの活用とマネジメントが行われている」、「環境に優しい都市システムによる脱炭素社会が創造されている」については充実希望度も重要度も低く、適宜、取り組むべき項目と考えられる。

表 3-1 環境に対する充実希望度・重要度

項目	充実希望度	重要度
1 豊かな自然環境の保全に向けて、身近な緑が保全・再生されている	1.38	1.47
2 水と緑が調和した自然空間があり、四季折々の自然環境が形成されている	1.42	1.47
3 多様な生物の生息・生育環境の保全のため、今ある自然環境への配慮が十分なされ、都市環境・居住環境と豊かな自然とが調和している	1.35	1.41
4 大気汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな空気が確保されている	1.51	1.64
5 土壌汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな土や地下水が確保されている	1.52	1.64
6 水質汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな川や海が確保されている	1.55	1.68
7 騒音・振動・悪臭の防止に向けた取組が推進され、快適な生活環境が確保されている	1.48	1.56
8 公園や緑地など新たに緑が創出され、潤いのある生活環境が確保されている	1.43	1.49
9 小樽ならではの景観を保全するとともに、良好な景観が形成されている	1.52	1.54
10 安全・安心な食を身近で確保するための地産地消が実践されている	1.45	1.55
11 文化財や優れた歴史的な遺産が適切に保全されている	1.55	1.59
12 廃棄物の発生抑制及び減量・資源化が推進され、循環型社会が形成されている	1.40	1.51
13 家庭における食品ロスや、事業者における食品廃棄物の削減が推進されている	1.42	1.54
14 エコバッグの活用や過剰梱包の防止など、プラスチックごみの削減に向けた取組が定着している	1.30	1.38
15 地球温暖化対策について、市民・事業者・行政の力を活かした地域からの行動が進められている	1.10	1.29
16 環境に優しい都市システムによる脱炭素社会が創造されている	1.03	1.15
17 エネルギーの地産地消を見据えた再生可能エネルギーの活用とマネジメントが行われている	1.03	1.12
18 環境への負荷を低減し、未来へつなげる循環型社会が実現されている	1.16	1.30
19 地球温暖化対策の取組に民間事業者を誘導する仕組みが実現されている	0.99	1.06
20 学校や地域、事業所などあらゆる社会の中で、環境教育・環境学習が推進され、環境を意識した行動が広がっている	1.39	1.43
21 より多くの市民・事業者が環境への関心と意識を高く持つことで、さまざまな環境保全活動と環境美化活動が展開されている	1.22	1.33
22 市民や事業者を牽引する行政の率先的取組が推進されている	1.13	1.26

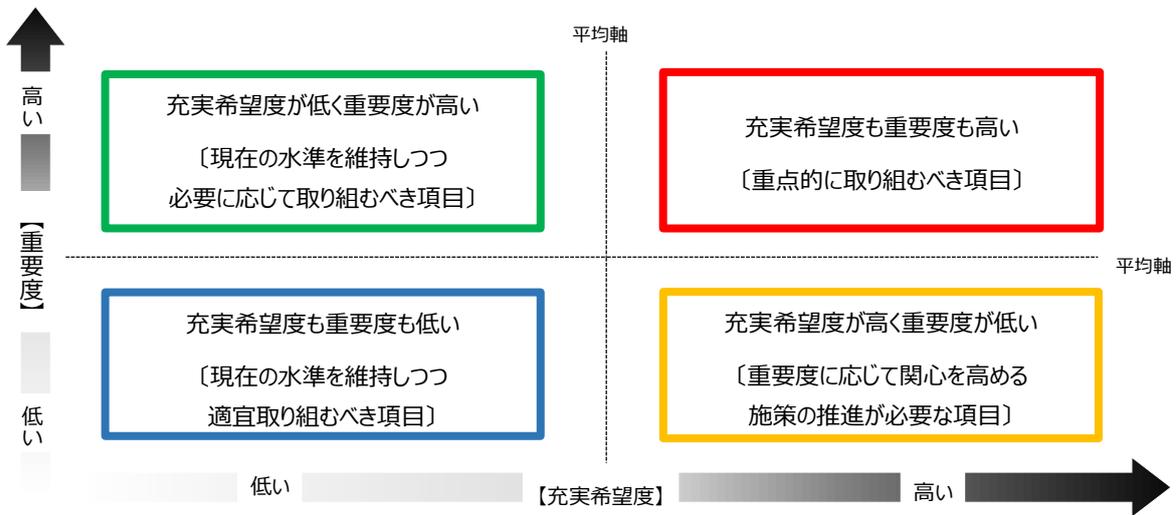
※【充実希望度・重要度のスコア化の定義】

充実希望度：「充実させて欲しい」＝+2、「やや充実させて欲しい」＝+1、「どちらともいえない」＝0、

「あまり希望しない」＝-1、「希望しない」＝-2、「無回答」カウントしない

重要度：「重要である」＝+2、「やや重要である」＝+1、「どちらともいえない」＝0、

「やや重要でない」＝-1、「重要でない」＝-2、「無回答」カウントしない



【ポートフォリオ分析】
 「充実希望度」、「重要度」のスコアの平均値を基準として4つの領域に区分し、充実希望度と重要度の高低を位置付けることで、より良い方向へと向かうべき項目を明確にする。

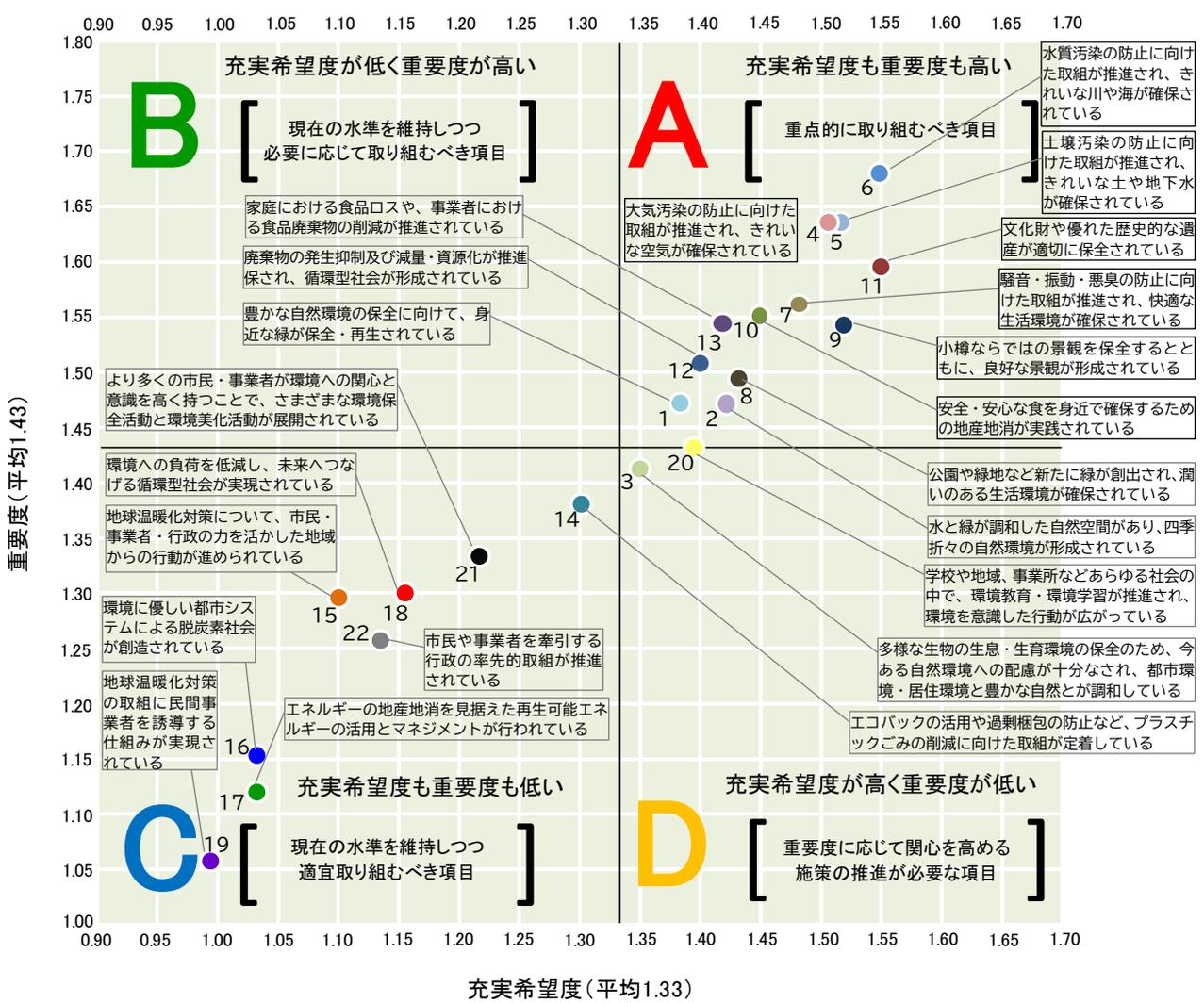


図 3-1 環境に対する充実希望度・重要度

表 3-2 環境に対する充実希望度・重要度順位

充実希望度順

項目	充実希望度
6. 水質汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな川や海が確保されている	1.55
11. 文化財や優れた歴史的な遺産が適切に保全されている	1.55
5. 土壌汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな土や地下水が確保されている	1.52
9. 小樽ならではの景観を保全するとともに、良好な景観が形成されている	1.52
4. 大気汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな空気が確保されている	1.51
7. 騒音・振動・悪臭の防止に向けた取組が推進され、快適な生活環境が確保されている	1.48
10. 安全・安心な食を身近で確保するための地産地消が実践されている	1.45
8. 公園や緑地など新たに緑が創出され、潤いのある生活環境が確保されている	1.43
2. 水と緑が調和した自然空間があり、四季折々の自然環境が形成されている	1.42
13. 家庭における食品ロスや、事業者における食品廃棄物の削減が推進されている	1.42
12. 廃棄物の発生抑制及び減量・資源化が推進され、循環型社会が形成されている	1.40
20. 学校や地域、事業所などあらゆる社会の中で、環境教育・環境学習が推進され、環境を意識した行動が広がっている	1.39
1. 豊かな自然環境の保全に向けて、身近な緑が保全・再生されている	1.38
3. 多様な生物の生息・生育環境の保全のため、今ある自然環境への配慮が十分なされ、都市環境・居住環境と豊かな自然とが調和している	1.35
14. エコバッグの活用や過剰梱包の防止など、プラスチックごみの削減に向けた取組が定着している	1.30
21. より多くの市民・事業者が環境への関心と意識を高く持つことで、さまざまな環境保全活動と環境美化活動が展開されている	1.22
18. 環境への負荷を低減し、未来へつなげる循環型社会が実現されている	1.16
22. 市民や事業者を牽引する行政の率先的取組が推進されている	1.13
15. 地球温暖化対策について、市民・事業者・行政の力を活かした地域からの行動が進められている	1.10
16. 環境に優しい都市システムによる脱炭素社会が創造されている	1.03
17. エネルギーの地産地消を見据えた再生可能エネルギーの活用とマネジメントが行われている	1.03
19. 地球温暖化対策の取組に民間事業者を誘導する仕組みが実現されている	0.99

重要度順

項目	重要度
6. 水質汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな川や海が確保されている	1.68
4. 大気汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな空気が確保されている	1.64
5. 土壌汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな土や地下水が確保されている	1.64
11. 文化財や優れた歴史的な遺産が適切に保全されている	1.59
7. 騒音・振動・悪臭の防止に向けた取組が推進され、快適な生活環境が確保されている	1.56
10. 安全・安心な食を身近で確保するための地産地消が実践されている	1.55
9. 小樽ならではの景観を保全するとともに、良好な景観が形成されている	1.54
13. 家庭における食品ロスや、事業者における食品廃棄物の削減が推進されている	1.54
12. 廃棄物の発生抑制及び減量・資源化が推進され、循環型社会が形成されている	1.51
8. 公園や緑地など新たに緑が創出され、潤いのある生活環境が確保されている	1.49
1. 豊かな自然環境の保全に向けて、身近な緑が保全・再生されている	1.47
2. 水と緑が調和した自然空間があり、四季折々の自然環境が形成されている	1.47
20. 学校や地域、事業所などあらゆる社会の中で、環境教育・環境学習が推進され、環境を意識した行動が広がっている	1.43
3. 多様な生物の生息・生育環境の保全のため、今ある自然環境への配慮が十分なされ、都市環境・居住環境と豊かな自然とが調和している	1.41
14. エコバッグの活用や過剰梱包の防止など、プラスチックごみの削減に向けた取組が定着している	1.38
21. より多くの市民・事業者が環境への関心と意識を高く持つことで、さまざまな環境保全活動と環境美化活動が展開されている	1.33
18. 環境への負荷を低減し、未来へつなげる循環型社会が実現されている	1.30
15. 地球温暖化対策について、市民・事業者・行政の力を活かした地域からの行動が進められている	1.29
22. 市民や事業者を牽引する行政の率先的取組が推進されている	1.26
16. 環境に優しい都市システムによる脱炭素社会が創造されている	1.15
17. エネルギーの地産地消を見据えた再生可能エネルギーの活用とマネジメントが行われている	1.12
19. 地球温暖化対策の取組に民間事業者を誘導する仕組みが実現されている	1.06

＜問 4＞ 市や地域などで進める環境保全に関する活動への参加・協力について

- ① 貴事業所として環境保全活動への参加・協力について、次の中から当てはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。

「行政や市民等から協力要請などがあれば、参加・協力したい」が42.1%と最も多く、次いで「機会やきっかけがあれば参加・協力したい」が28.0%、「わからない」が17.1%、「積極的に参加・協力したい」が6.1%、「参加・協力できない又はしたくない」が4.3%となっている。

項目	回答者数	割合
積極的に参加・協力したい	10	6.1%
機会やきっかけがあれば参加・協力したい	46	28.0%
行政や市民等から協力要請などがあれば、参加・協力したい	69	42.1%
参加・協力できない又はしたくない	7	4.3%
わからない	28	17.1%
無回答	4	2.4%
合計	164	100%

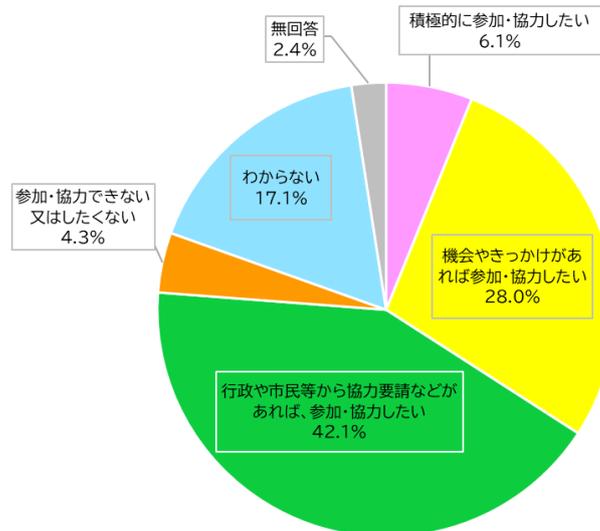


図 4-1 環境保全活動への参加・協力について（全体）

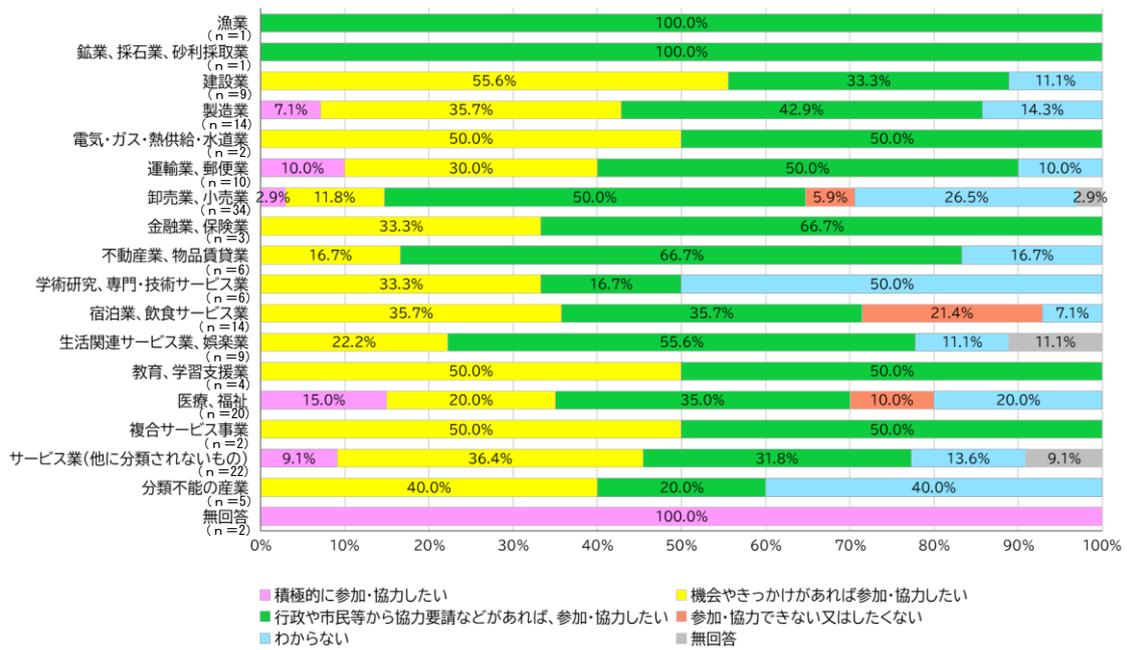


図 4-2 環境保全活動への参加・協力について（業種別）

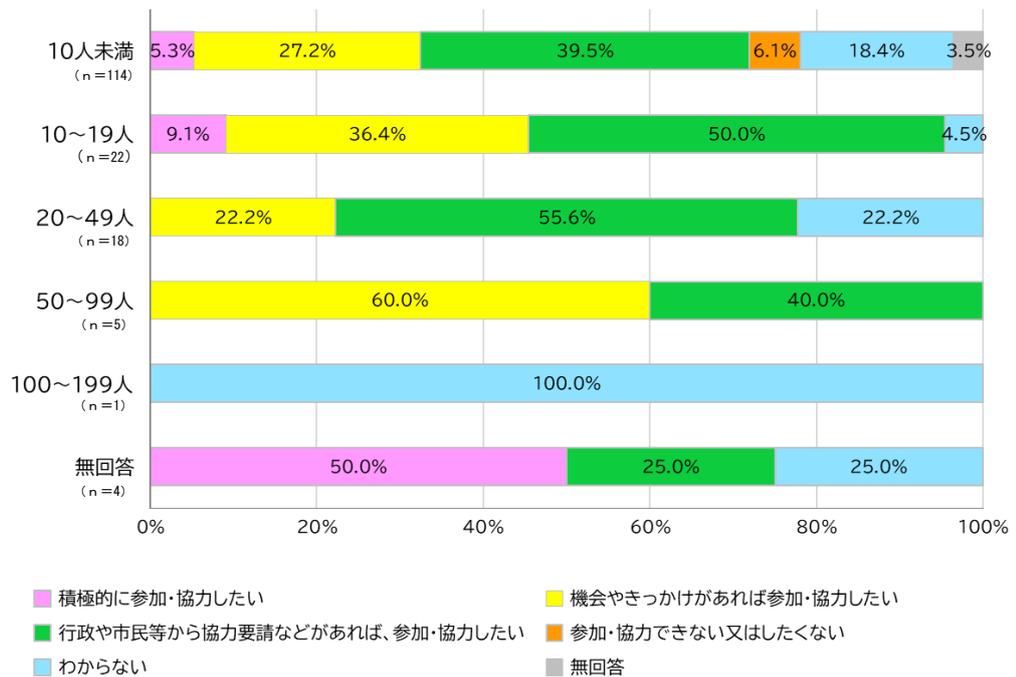


図 4-3 環境保全活動への参加・協力について（事業所従業員数別）

＜問4＞ 市や地域などで進める環境保全に関する活動への参加・協力について

② 上記質問で、「4 参加・協力できない又はしたくない」を選ばれた場合、その理由等があれば下記枠内にご記入ください。

● 「参加・協力できない又はしたくない」理由

従業員数 (事業所)	回答
10人未満	・委託のため ・健康上の理由 ・忙しい ・人員不足なので、日常の業務以外に生じる活動だと参加協力が難しい
	4件

＜問5＞ 取り組むべき環境施策について

事業者の視点から、小樽市全体（市民・事業者・市）で、特に焦点を当てて取り組んでいくべきと考える環境課題を、次の中から当てはまる番号を5つまで選び、○をつけてください。

行政が取り組むべき環境施策については「道路環境の整備」が45.7%と最も多く、次いで「歴史的建造物・文化財の保存や芸術・文化の振興」が43.9%、「公共交通の維持・充実、環境にやさしい都市づくり」が37.8%、「河川・海等の水質汚濁の防止」が35.4%となっている。

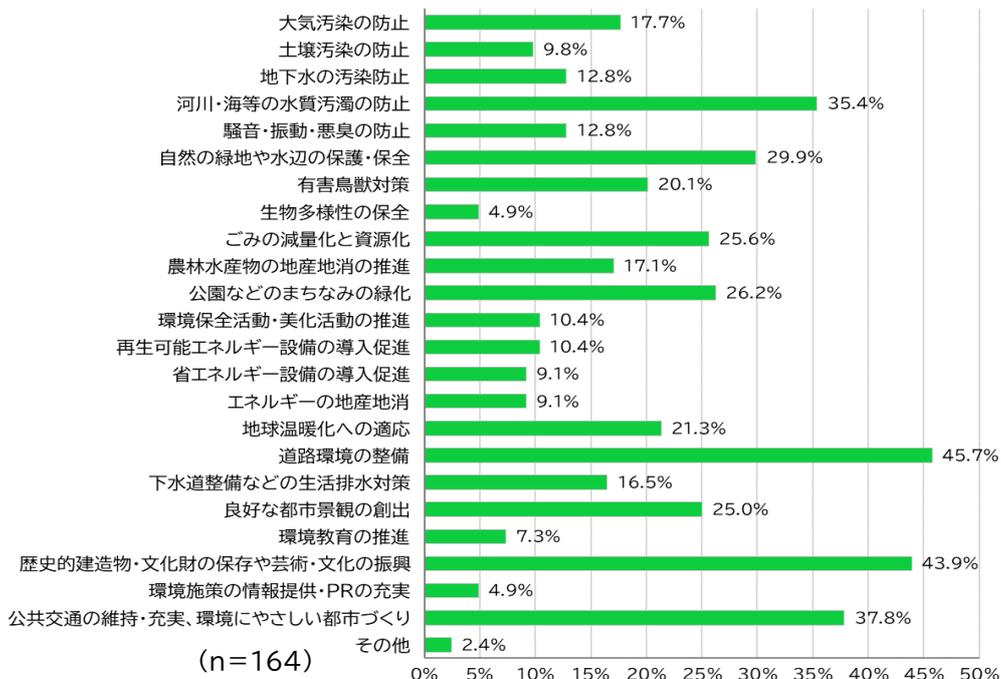


図 5-1 行政が取り組むべき環境施策について（全体）

● その他の回答

- 雪対策。特に除排雪や空き家周りの雪、通学路の雪対策。
- 南小樽⇄新小樽間のロープウェイ設置。冬期間の輸送効率向上のため。
- 除排雪の充実。厳しい冬季間でも快適に生活できる環境の整備。
- 空家対策。

＜問 6＞ 行政に期待する施策について

貴事業所が環境保全対策を進めて行くために、貴事業所が行政に特に期待している施策は何ですか。次の中から当てはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

行政が期待する施策について、「事業所のごみの減量化・リサイクルについて支援する」47.6%が最も多く、次いで「省エネルギー設備の導入に関する支援制度を充実する」が45.7%、「太陽光発電など再生可能エネルギーを利用した設備の導入に関する支援制度を充実する」が34.1%、「市民に対して環境保全意識の啓発活動を行う」が31.7%、「地球環境保全に関する調査・研究を進め、広く情報提供を行う」が22.0%となっている。

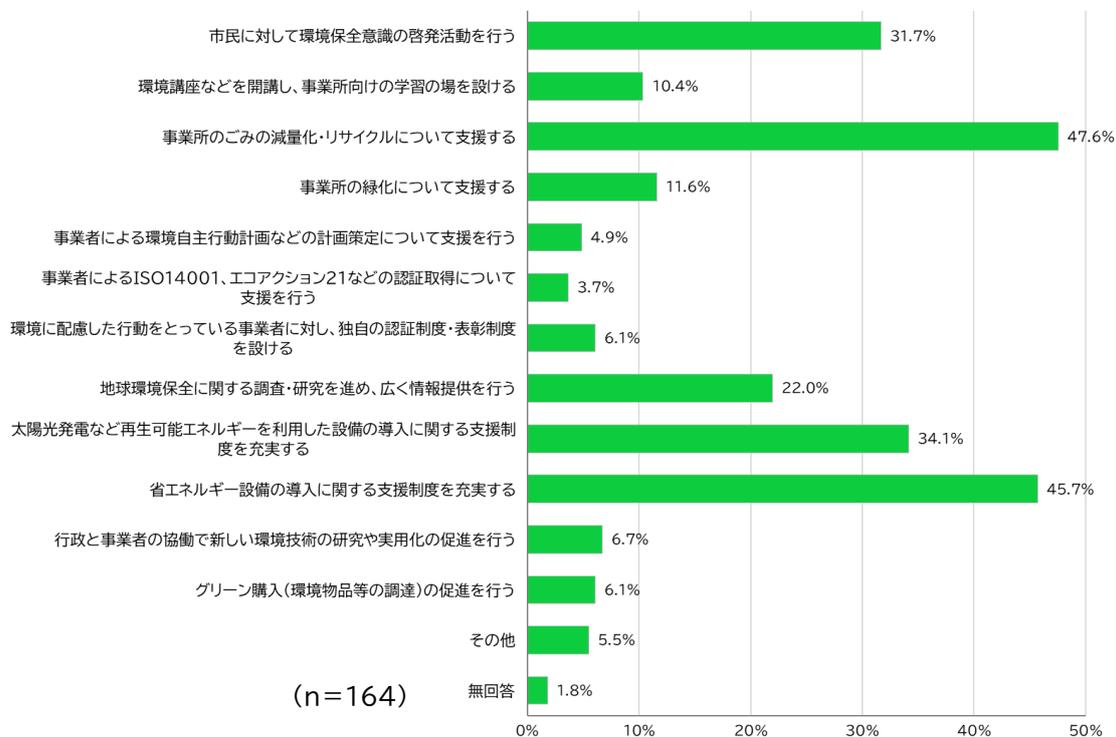


図 6-1 行政に期待する施策について (全体)

● その他の回答

- ・ 中国等に土地を売り過ぎ(含, ニトリ)。
- ・ どのようにリサイクルされているか示してほしい。
- ・ 地域性に特化した環境保全条例等の制定。
- ・ 街の中にもっと力を入れ観光客が来るような政策も必要かと思いますが、誠に策が不足していると思います。
- ・ 行政がなにをしようとしているかさっぱりわかりません。
- ・ 環境保全対策実施のための助成金の拡充。

<問 7> 事業所の利用エネルギーについて

- ① 平成 28 年（2016 年）4 月から電力の小売全面自由化となり、電気の契約先を選ぶことができるようになりました。貴事業所は電力の契約会社を変更しましたか。次の中から当てはまる番号を 1 つ選び、○をつけてください。

- ① 電力の契約会社変更を行ったのは 29.3%となっている。

質問項目	回答者数	割合
変更した	48	29.3%
変更していない	112	68.3%
無回答	4	2.4%
合計	164	100%

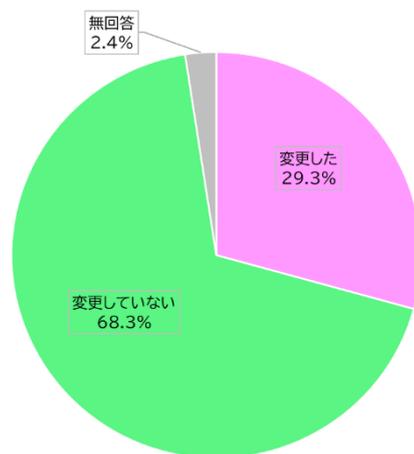


図 7-1 電力の契約会社の変更について（全体）

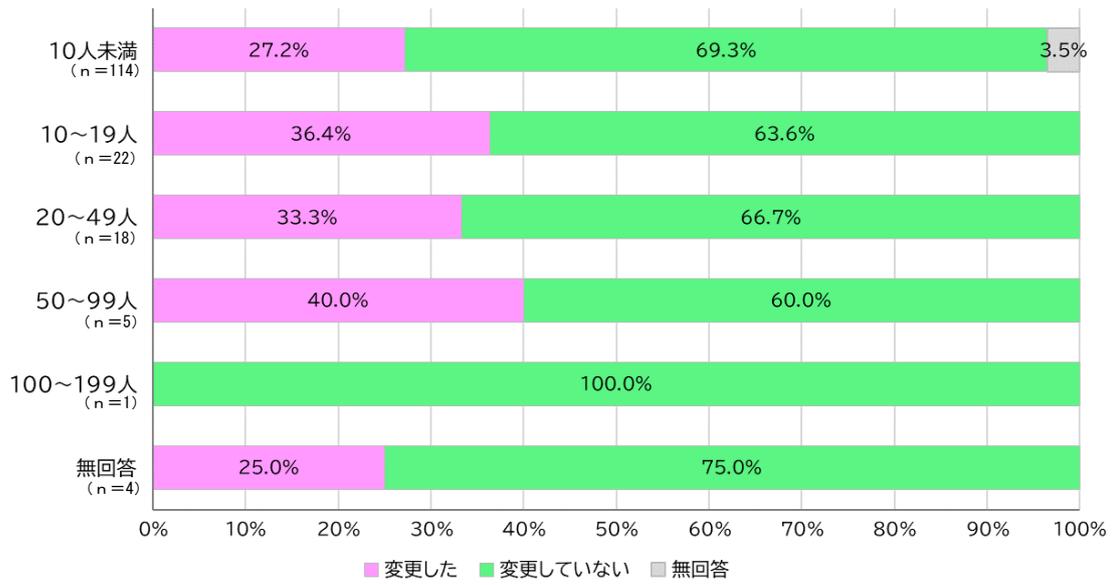


図 7-2 電力の契約会社の変更について（事業所従業員数別）

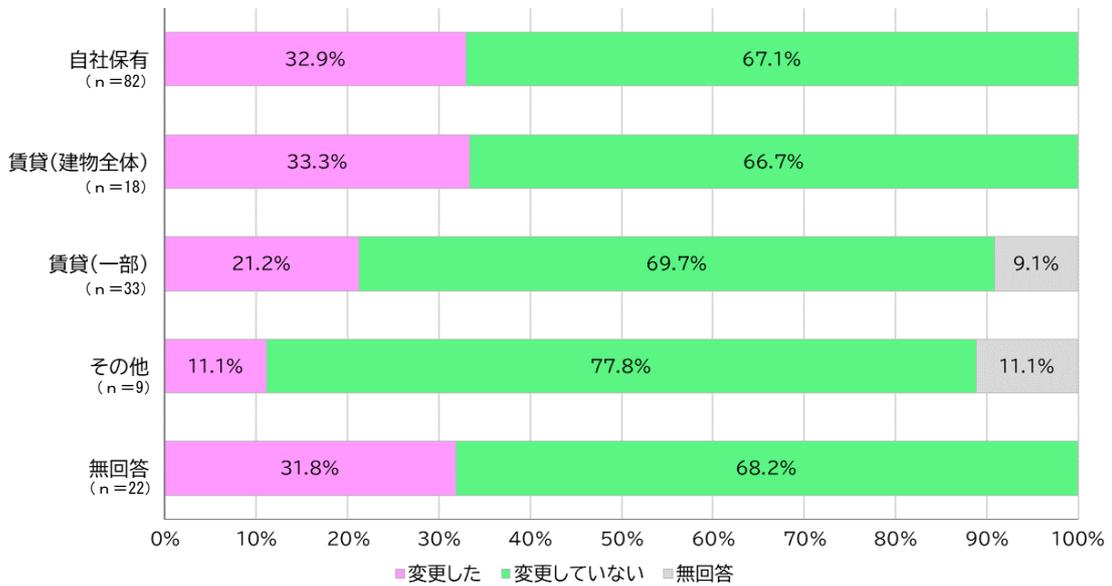


図 7-3 電力の契約会社の変更について（所有形態別）

<問 7> 事業所の利用エネルギーについて

② Q7の①で「1 変更した」を選んだ方におたずねします。電力会社を選ぶときに重視した点として、次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

② 電力会社の変更について重視した点は、「電気代を少しでも安くしたかった」が最も高く85.4%で、他は10%以下となっている。

電力会社選定の際に重視した点	回答者数	割合
電気代を少しでも安くしたかった	41	85.4%
各種の割引サービス、ポイント付加	1	2.1%
再生可能エネルギーで発電を行うなど環境へ配慮している企業だから	1	2.1%
道内企業だから	2	4.2%
特にない	0	0.0%
その他	3	6.3%
合計	48	100%

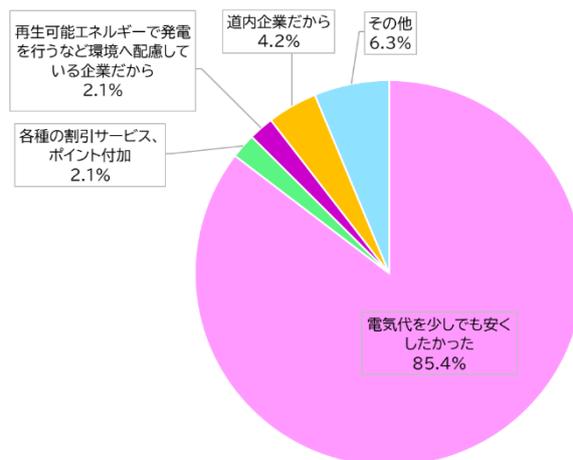


図 7-4 電力会社を選ぶときに重視した点 (全体)

● 「その他」の回答

- ・ 原発に依存しない電力を希望
- ・ 社業に関連がある会社であったから

<問 7> 事業所の利用エネルギーについて

③ Q7の①で「2 変更していない」を選んだ方におたずねします。変更しなかった理由として、次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

③ 電力会社を変更しなかった理由については、「特に理由はない」が26.8%、次いで「価格面のメリットを感じなかった」が15.2%、「契約面の煩わしさ」が14.3%、「その他」が12.5%、「小売電気事業者倒産の不安」が10.7%、「信用できる業者がいなかった」が9.8%、「魅力的なサービスが無かった」が8.0%となっている。

- ・事業所の電力契約会社を変更した事業所は29.3%で、多くは未変更である。
- ・変更しなかった理由は、「特に理由なし」が26.8%、「価格面のメリットを感じなかった」が15.2%、「契約の煩わしさ」が14.3%となっており、電力会社を変更してまでメリットが無いと判断されている傾向がある。

変更していない理由	回答者数	割合
価格面のメリットを感じなかった	17	15.2%
魅力的なサービスが無かった	9	8.0%
契約面の煩わしさ	16	14.3%
信用できる業者がいなかった	11	9.8%
小売電気事業者倒産の不安	12	10.7%
特に理由はない	30	26.8%
その他	14	12.5%
無回答	3	2.7%
	112	100%

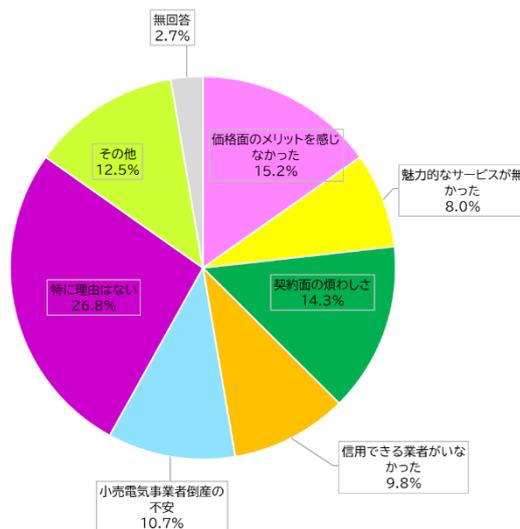


図 7-5 電力会社を変更しなかった理由 (全体)

● 「その他」の回答

- ・受託会社なので回答不能。
- ・本社の判断
- ・本社からの指示がないため。
- ・北電のお客様がいたので。
- ・会社の一括契約をしているため。
- ・賃貸施設のため
- ・賃貸で、電気代は不要であること
- ・管理先が本社であるため。
- ・本社で決めることなので
- ・取引先が北電なので。
- ・付き合い
- ・地元には本社がある業者にめぐりあっていないから。
- ・賃貸のため、契約先の選択肢を有しない。

<問 8> 省エネ最適化診断について

① 貴事業所では、省エネ最適化診断を実施していますか。次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

「実施済」が1.2%、「実施したい（又は実施する予定がある）」が11.6%、「今後も実施するつもりはない」が34.1%、「初めて聞いた」が50.6%となっている。

省エネ最適化診断の実施率は非常に低く、認知度は半数程度である。省エネ最適化診断の内容についての周知活動が必要と考えられる。

省エネ最適化診断の実施について	回答者数	割合
実施済	2	1.2%
実施したい（又は実施する予定がある）	19	11.6%
今後も実施するつもりはない	56	34.1%
初めて聞いた	83	50.6%
無回答	4	2.4%
	164	100%

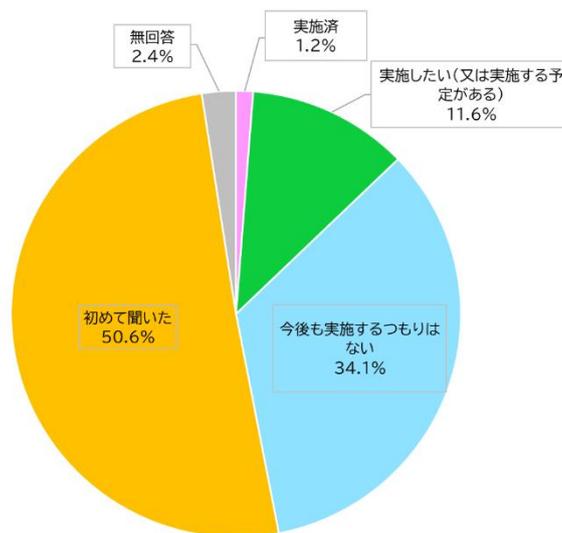


図 8-1 省エネ最適化診断の実施について（全体）

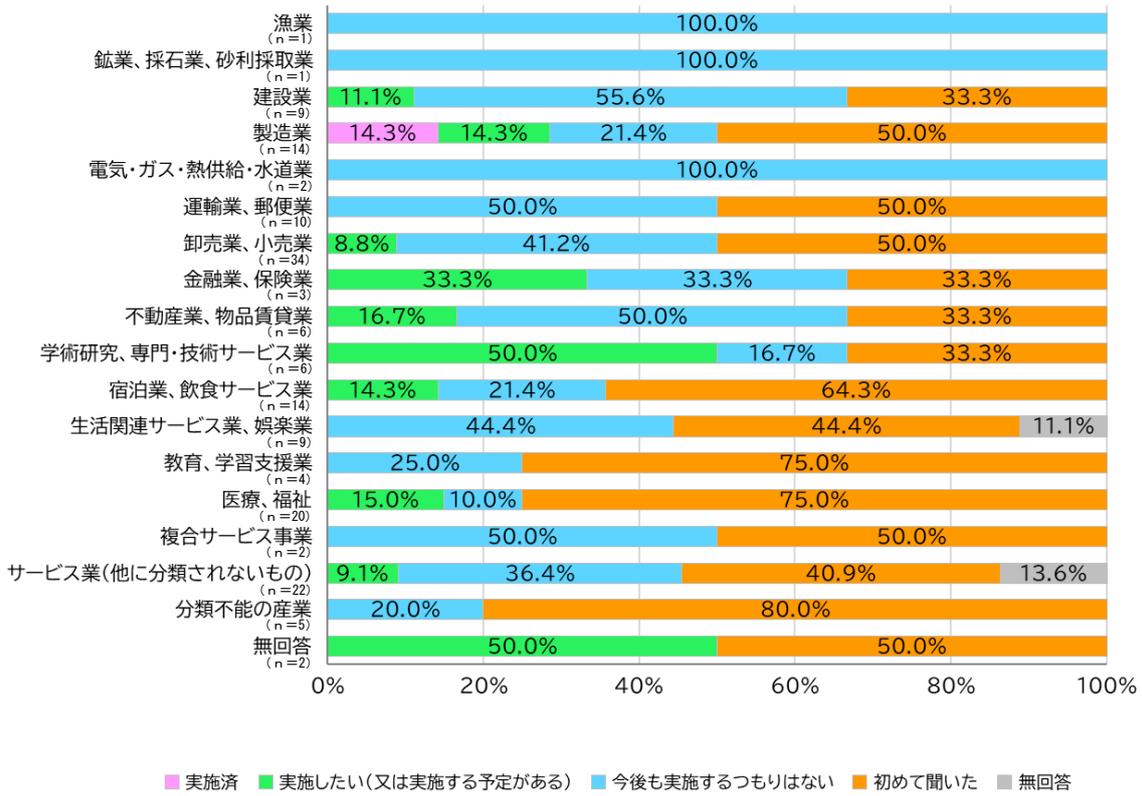


図 8-2 省エネ最適化診断の実施について（業種別）

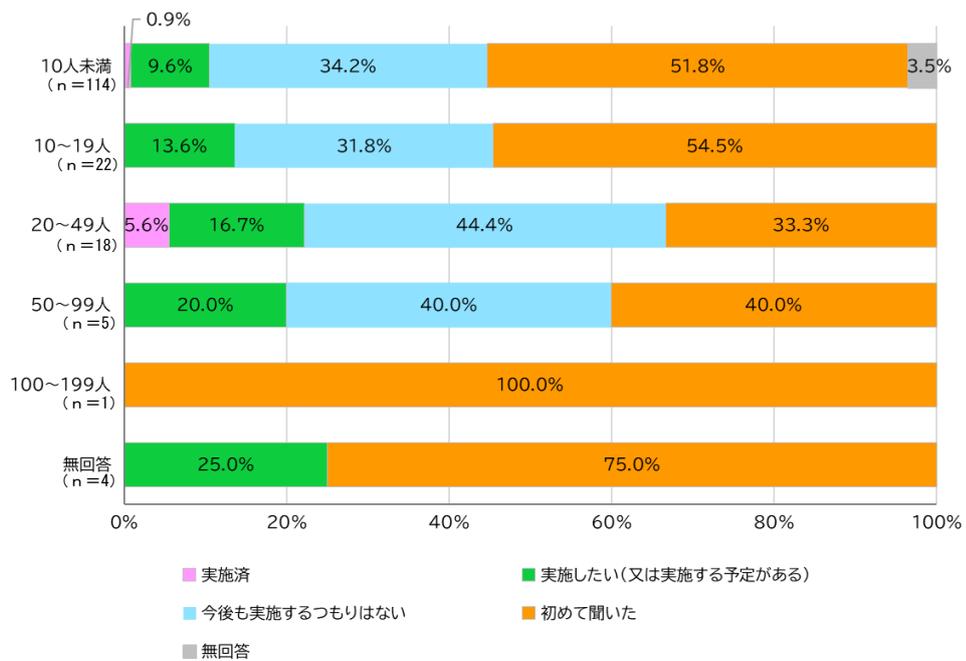


図 8-3 省エネ最適化診断の実施について（事業所従業員数別）

＜問 8＞ 省エネ最適化診断について

② Q8 の①で「4 初めて聞いた」を選んだ方におたずねします。今後、省エネ最適化診断を実施したいと思いますか。当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

「実施したいとは思わない」が 57.8%、「実施したい」が 37.3%となっている。

省エネ最適化診断を実施したいかどうか	回答者数	割合
実施したい	31	37.3%
実施したいとは思わない	48	57.8%
無回答	4	4.8%
	83	100%

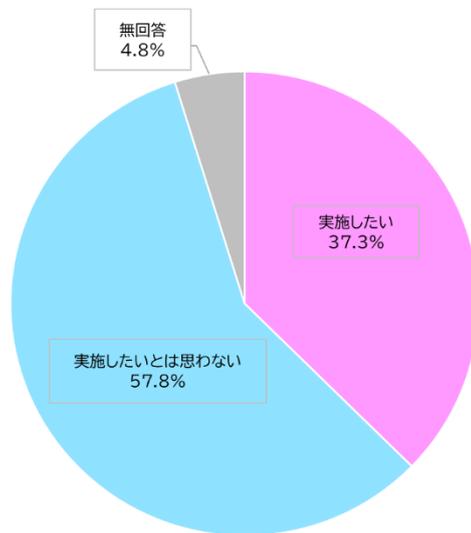


図 8-4 省エネ最適化診断を実施したいかどうかについて（全体）

● 実施したいと思わない理由

- ・ 数年以内に廃業予定の為。
- ・ 費用がかかるから
- ・ 受託会社なので回答不能
- ・ よくわからない
- ・ 今のところ不要
- ・ 管理先が本社である為
- ・ 有料だから
- ・ 制度がよくわからない
- ・ 時間を取られるため
- ・ お金がかかるため
- ・ 切り詰めてもう精一杯
- ・ 面倒に思う
- ・ 1～2年で会社を閉める予定
- ・ 細々と営業していて、閉店も考え中の店です。

- ・イメージできない
- ・費用がかかるから
- ・個人事業主のため、規模感がそぐわない
- ・コストのかかることに取り組むのは難しい
- ・本社判断のため
- ・多忙で余裕はない
- ・個人経営で小規模なので
- ・費用が掛かるのであれば無理
- ・費用がどの程度かかるかを知りたいです。事業所だけでなく教会でするので、総会で決められる。
- ・大きな事業所ではないから

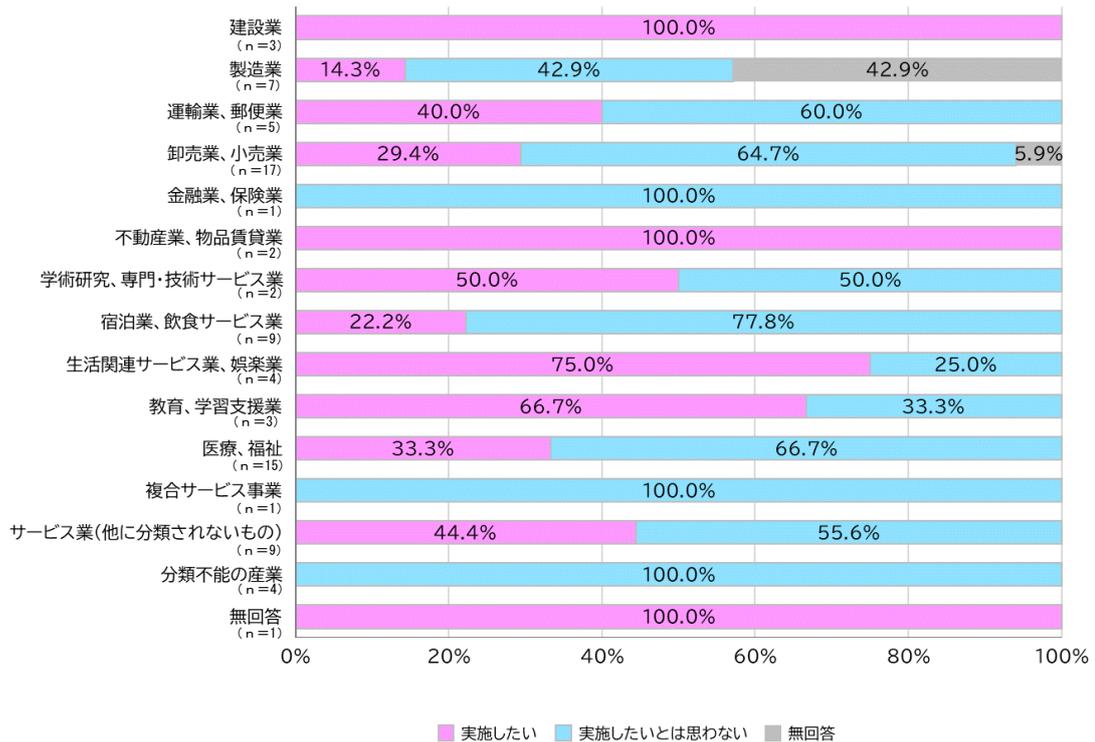


図 8-5 省エネ最適化診断を実施したいかどうかについて（業種別）

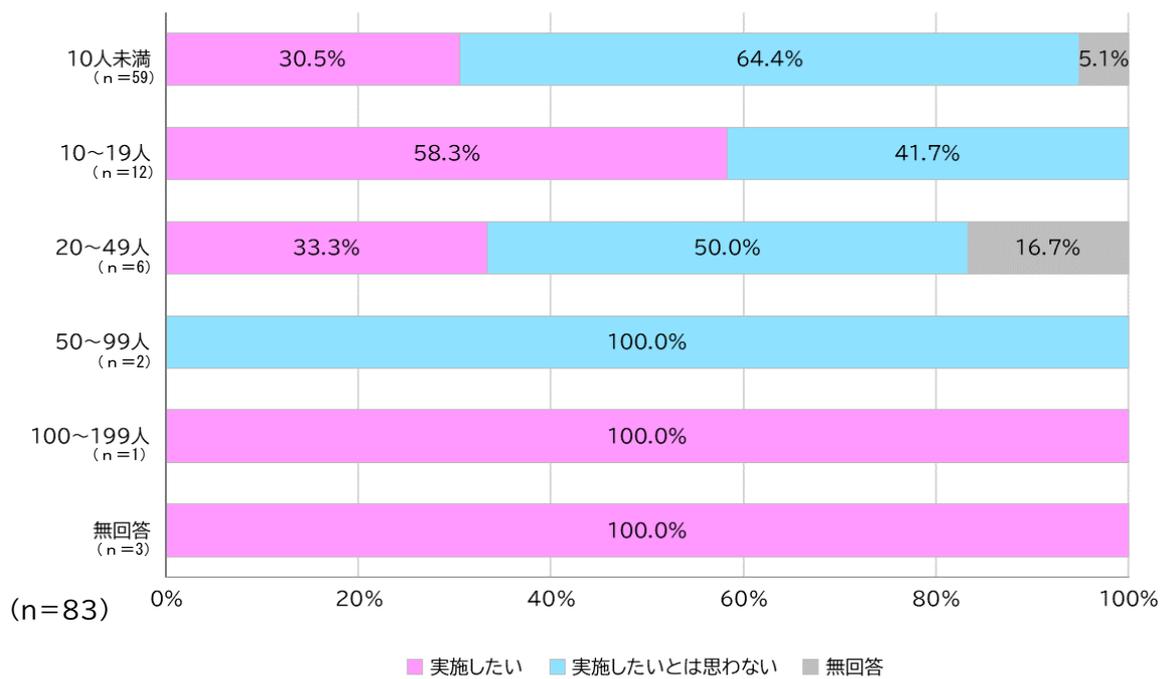


図 8-6 省エネ最適化診断を実施したいかどうかについて（事業所従業員数別）

＜問9＞ 気候変動の影響への「適応」について

- ① あなたは気候変動の影響への「適応」という言葉をご存じですか。次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

「適応」という言葉について、「言葉は知っていたが意味は知らない」が39.0%と最も多く、次いで「言葉自体知らない」が35.4%、「意味を含めて知っている」が22.6%となっている。

「適応」という言葉を聞いたことがある方は61.6%、一方で、意味を知らない方は74.4%の結果となり、気候変動の影響についての周知活動や具体的な「適応策」についての検討が必要と考えられる。

「適応」という言葉を知っているか	回答者数	割合
意味を含めて知っている	37	22.6%
言葉は知っていたが意味は知らない	64	39.0%
言葉自体知らない	58	35.4%
無回答	5	3.0%
	164	100%

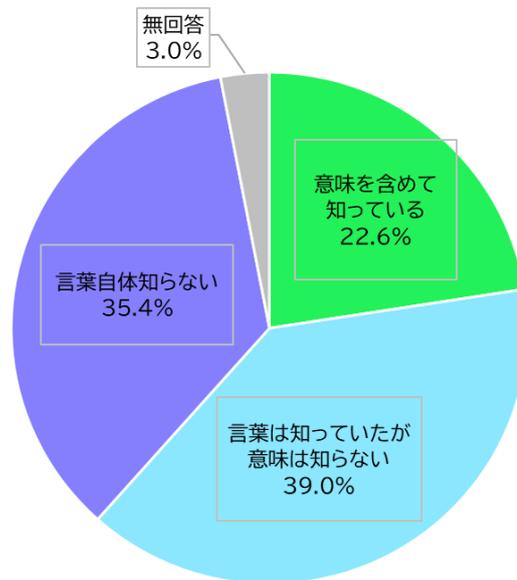


図 9-1 気候変動への「適応」という言葉をご存じですか（全体）

＜問 9＞ 気候変動の影響への「適応」について

② 小樽市で温暖化の影響をすでに受けていると感じるものについておたずねします。次の中から当てはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

温暖化の影響をすでに受けていると感じるものについては「海産物の漁獲量や漁期の変化」が51.2%と最も高く、次いで「熱中症患者の増加」が41.5%、「降雪量、降雪回数の減少」が22.6%、「農作物の品質低下や収穫量」が19.5%、「洪水や内水氾濫リスクの増加」と「台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響」が18.3%となっている。

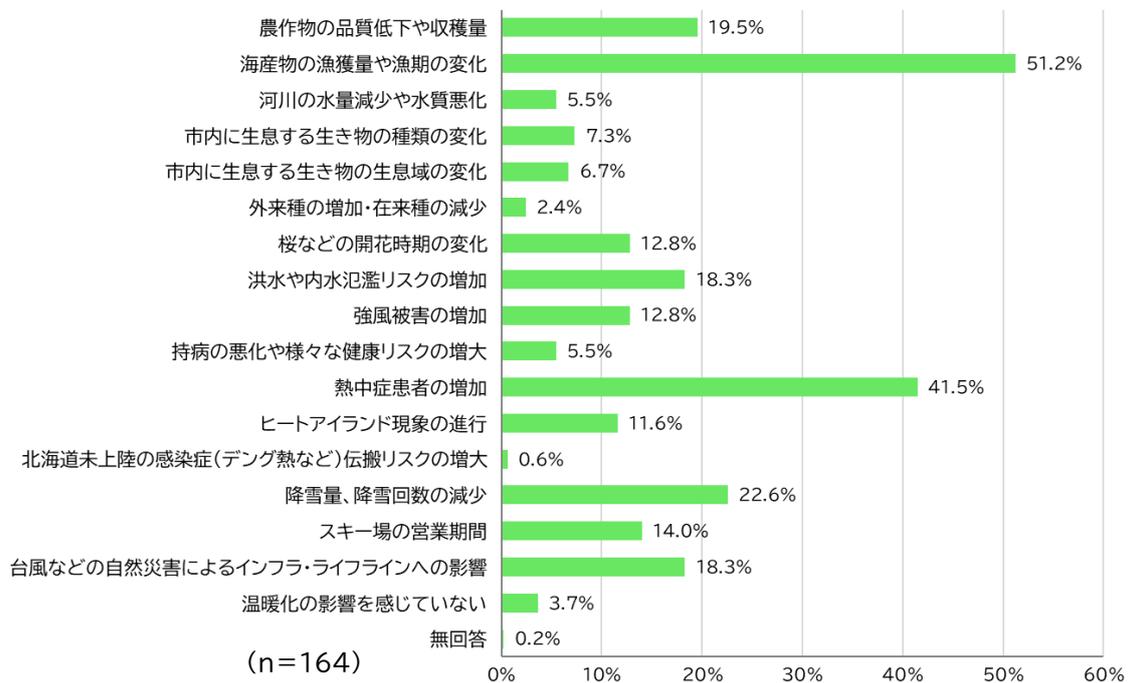


図 9-2 既に気候変動の影響を受けていると感じるもの（全体）

<問 9> 気候変動の影響への「適応」について

③ 小樽市で優先して対策する必要があると思う取組についておたずねします。次の中から当てはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

優先して対策する必要があると思う取組については「自然災害に強いライフライン（電気・ガス・水道・電話・インターネット等）構築」が64.0%と最も高く、次いで「自然災害に強いインフラ（道路・鉄道・港湾・ダム・橋梁・学校・病院等）構築」が59.8%、「土砂災害危険箇所の防災対策」が25.0%、「洪水や内水氾濫リスクの対策」が22.0%、「観光客向けの災害時対策」が20.1%、「熱中症予防対策の推進」が17.7%となっている。

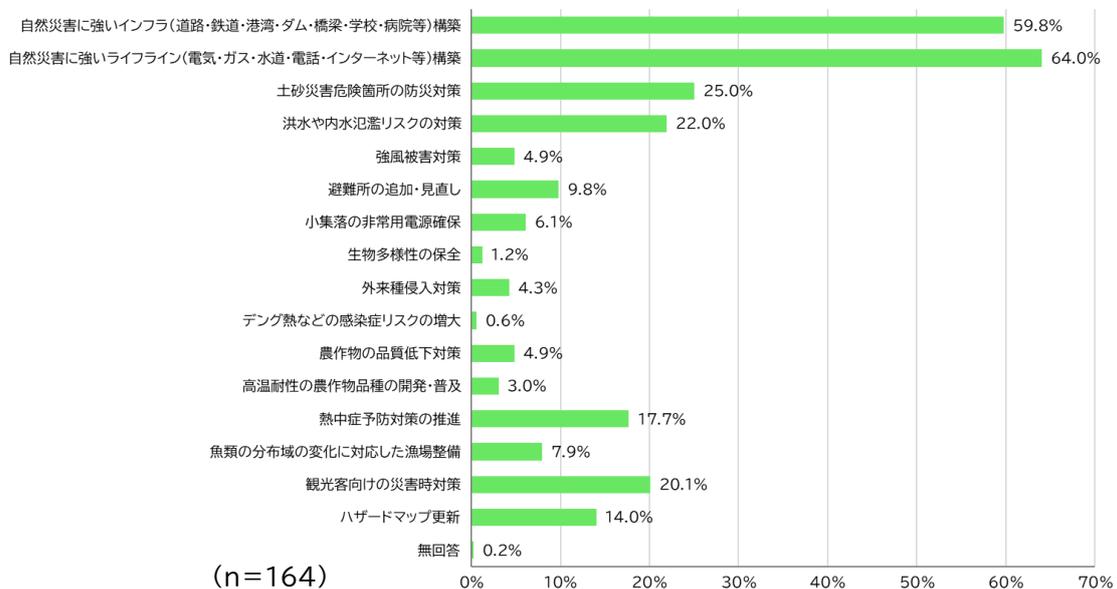


図 9-3 市が優先して対策する必要があると思う取組について（全体）

<問 10> 持続可能な開発目標（SDGs）について

- ① 平成 27 年（2015 年）の国連サミットで採択された、「持続可能な開発目標（SDGs）」をご存じですか。次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

「内容を把握している」が 45.7%で最も高く、次いで「名称だけ聞いたことがある・マークを見たことがある」が 42.7%、「全く聞いたこと、見たことがない」が 10.4%となっている。

SDGs については内容を把握している事業所が約 46%程度、名称やマークを見たことがある事業所を含めると、約 88%となり、事業者にもかなり浸透している。

SDGs に関連付けた環境施策の取組が必要と考えられる。

持続可能な開発目標（SDGs）を知っているか	回答者数	割合
内容を把握している	75	45.7%
名称だけ聞いたことがある・マークを見たことがある	70	42.7%
全く聞いたこと、見たことがない	17	10.4%
無回答	2	1.2%
	164	100%

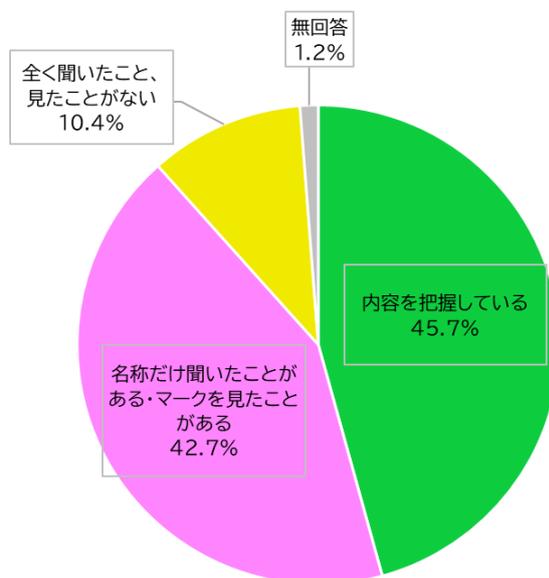


図 10-1 持続可能な開発目標（SDGs）を知っていますか（全体）

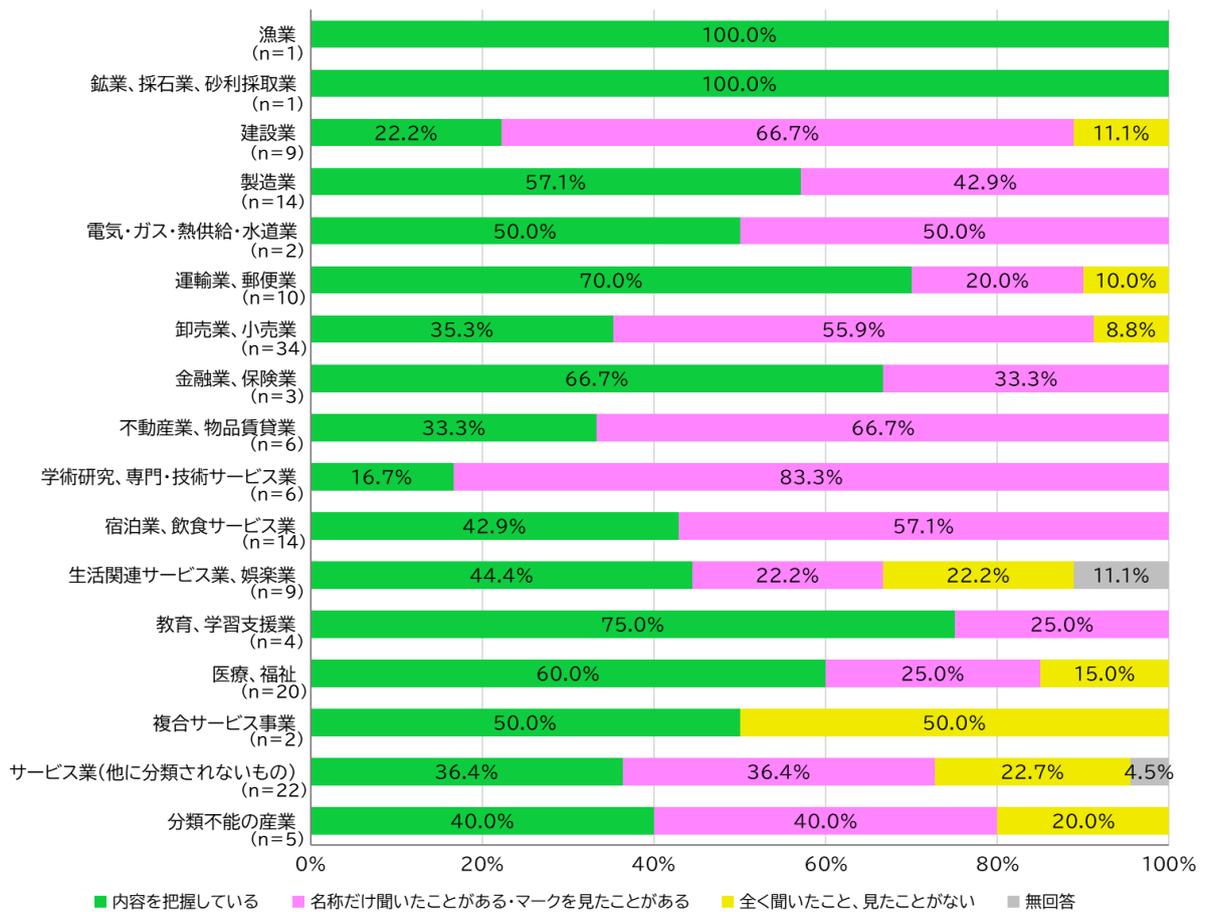


図 10-2 持続可能な開発目標 (SDGs) を知っていますか (業種別)

＜問 10＞ 持続可能な開発目標（SDGs）について

② 貴事業所は SDGs の目標を自社の事業に取り組む活動を行っていますか。次の中からあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

回答割合が高かった順として「未定である」が 30.5%、次いで「取り組む予定はない」が 29.9%、「取り組む予定である」が 20.1%、「取り組んでいる」が 18.9%となっている。

SDGs の目標に取り組んでいるか	回答者数	割合
取り組んでいる	31	18.9%
取り組む予定である	33	20.1%
取り組む予定はない	49	29.9%
未定である	50	30.5%
無回答	1	0.6%
	164	100%

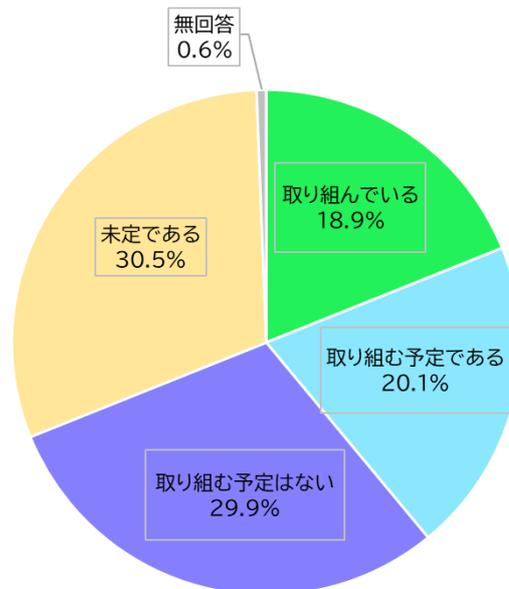


図 10-3 自社の事業で SDGs の目標に取り組んでいますか（全体）

＜問 10＞ 持続可能な開発目標（SDGs）について

③ 「1 取り組んでいる」を選択された場合、どんな目標に取り組んでいるのか、次の中から当てはまる番号を全て選び、○をつけてください。

回答割合が高かった順として、「パートナーシップで目標を達成しよう」が 10.4%、次いで「気候変動に具体的な対策を」が 9.8%、「すべての人に健康と福祉を」が 9.1%、「人や国の不平等をなくそう」と「住み続けられるまちづくりを」が 8.5%、「質の高い教育をみんなに」が 7.9%となっている。

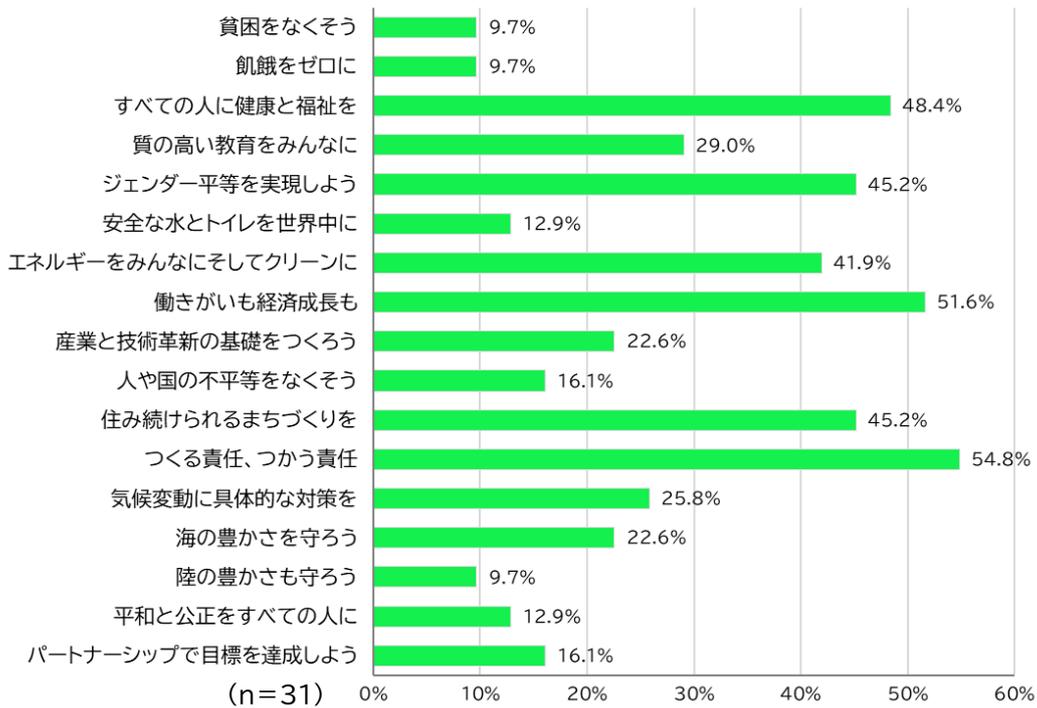


図 10-4 どんな目標に取り組んでいますか（全体）

＜問 11＞ 環境に関する情報提供について

環境に関する情報を入手したい場合、どの媒体で情報提供を行うとわかりやすいですか。次の中から最も当てはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

回答割合は「インターネット・メール配信」の45.7%が最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」が45.1%、「新聞・雑誌・書籍」が43.9%、「国・道・市などの広報誌」が38.4%、「SNS(フェイスブック等)」24.4%、「講習会や研修会」が18.9%、「地域活動を通じて」が17.7%、「仕事関係者との会話」が12.2%、「家族との会話」が3.0%となっている。「その他」の回答は得られていない。

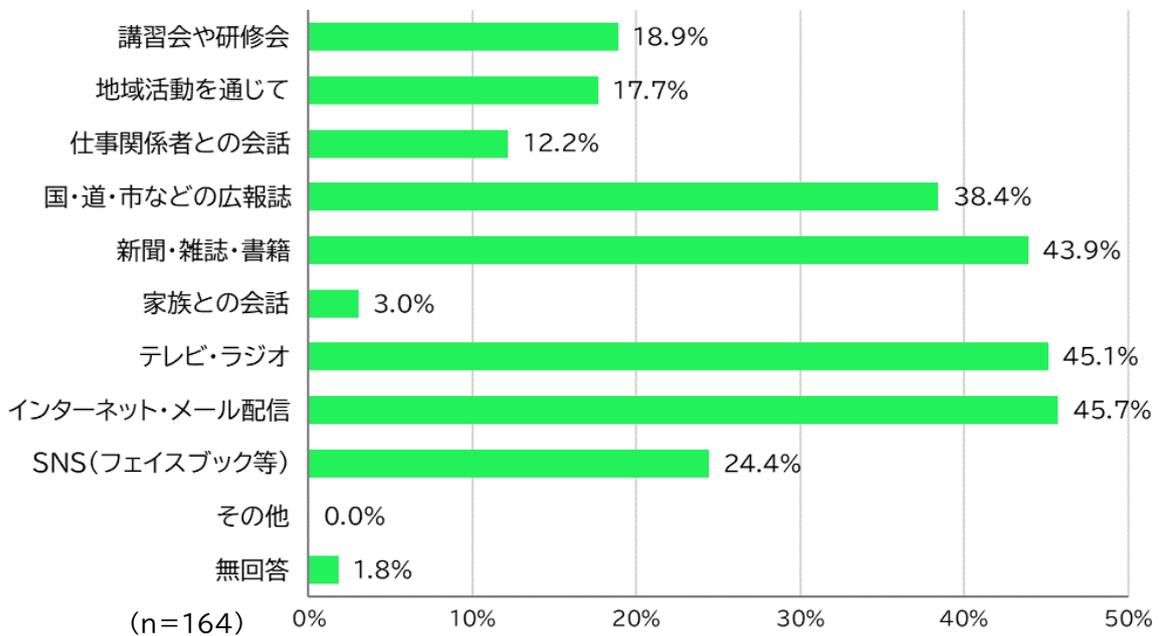


図 11-1 環境に関する情報提供について (全体)

<問 12> 環境に関するご意見について

最後に、小樽市の環境行政へのご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

自由記入欄への記載について、環境に関連する内容のみを抜粋・要約し、項目別に整理した。一つの回答で複数の項目について記載がある場合は、それぞれ該当する項目に整理した。

従業員数（事業所）	意見数
10人未満	20
10～19人	2
20～49人	2
50～99人	0
100～199人	0
200人以上	0
無回答	1
総数	25

区分	意見数
まちづくり	5
環境行政	5
地球環境・気候変動	4
環境教育・環境情報	3
景観	3
その他	2
道路環境	2
SDGs	2
港湾	1
公園整備・緑化	1
災害対策	1
廃棄物・資源循環	1
再エネ	1
総数	31

	業種別	意見数
1	農業、林業	0
2	漁業	1
3	鉱業、採石業、砂利採取業	0
4	建設業	0
5	製造業	4
6	電気・ガス・熱供給・水道業	1
7	情報通信業	0
8	運輸業、郵便業	0
9	卸売業、小売業	6
10	金融業、保険業	1
11	不動産業、物品賃貸業	1
12	学術研究、専門技術・サービス業	1
13	宿泊業、飲食サービス業	3
14	生活関連サービス業、娯楽業	2
15	教育、学習支援業	2
16	医療、福祉	1
17	複合サービス事業	0
18	サービス業(他に分類されないもの)	2
19	分類不能の産業	0
	総数	25

【長橋・オタモイ地区】

従業員規模 (事業所)	ご意見、提案等	業種	区分
10人未満	・手宮公園の桜の木々が昔ほど美しくない気がします。枯れた木が目立ち手入れする人材不足が気になります。	11	公園整備・緑化
10人未満	・近所に市道ぎりぎりに建物を建て、とてもその前を通りづらい。住環境が悪い。そういうところから変えてもらいたい。 ・道路も悪い。	14	まちづくり、道路環境
10人未満	・後志地区の風力発電建設計画を差し止めて頂きありがとうございます。しかし、今も着々と進行中の石狩地区から東北への洋上風力発電開発には、非常に不満と不安を感じております。今一度、「再生可能エネルギー」のデメリットを確認して頂きたいです。利権事業であり、地球の環境を考えた場合、茶番である事が理解できるかと思えます。市民が求めているのは、その様な事ではなく、健康的に暮らしていける環境が保たれた小樽という街の保全・推進です。	9	再エネ
10人未満	・未来を担う子供たちを正しく導くことが周りの大人たちを変えていくと思えます。	15	その他
	4件		

※職業欄の番号について

9:卸売業、小売業 11:不動産業、物品賃貸業 14:生活関連サービス業、娯楽業 15:教育、学習支援業

【高島地区】

従業員規模 (事業所)	ご意見、提案等	業種	区分
10人未満	・不法投棄を厳しく取り締まってほしい。	18	廃棄物・資源循環
20人～49人	・省エネや太陽光システム、ハイブリッド自動車の導入等に対して補助金制度等あれば積極的に取り入れたい。 ・また、そういった制度がすでにあるにしても申請方法や、内容が不明瞭な部分が多いので、知るきっかけがもっとあれば良い	5	環境行政、環境教育・環境情報
	2件		

※職業欄の番号について

5:製造業 18:サービス業（他に分類されないもの）

【手宮地区】(1/2)

従業員規模 (事業所)	ご意見、提案等	業種	区分
10人未満	・人口減少が止まらない中、又、少ない予算の中で市民のために手を尽くして頂きありがとうございます。未来ある子供達のため、市民のため住みやすい街づくりをお願い致します。	9	まちづくり
10人未満	・地球温暖化は人類の手ではもう遅いです。エアコンの購入の援助を各家庭にしてあげてください。 ・老人ばかりの小樽なので、年寄りが安心して暮らせる町に。	13	地球環境・気候変動、まちづくり
10人未満	・小樽市環境基本計画が小樽市のHPにあるが古い。しかも、市長が中松義治になっている。更新した方が良いのでは？	15	環境教育・環境情報
10人未満	・運河など観光の場所等の清掃、草刈りの充実をお願いしたい。運河を歩くと雑草等でとても見苦しいです。ペットに優しい街にしてほしい	13	景観

【手宮地区】(2/2)

従業員規模 (事業所)	ご意見、提案等	業種	区分
10人未満	<ul style="list-style-type: none"> 環境への取り組みとは若干ずれるかもしれないが、防波堤の改善や船の係船場所の確保を市に取り組んでもらいたい。近年シケが多くなっており、現在の防波堤では少し大きめの低気圧が来ただけで、波が防波堤を超えてくるため港内であっても係船中の船の安全に不安がある。昔は風の向きによって第三埠頭に係船したりもしていたが、第三埠頭が観光船優先となっていくのであれば、尚更地元の船が安心して係船できる場所を確保してほしい。現在は、少し大きめのシケであれば船員が船で待機し、岸壁に着けたままでは船に損傷の可能性があるかと判断すれば港内でアンカーするなどして対応している。 防波堤を高くするなどして対策してもらえれば船で待機する際の燃油代、食料代の削減となり、SDGsとしての取り組みに通じると考える。 	2	港湾、SDGs
	5件		

※職業欄の番号について

2: 漁業 9: 卸売業、小売業 13: 宿泊業、飲食サービス業 15: 教育、学習支援業

【中央地区】

従業員規模 (事業所)	ご意見、提案等	業種	区分
10人未満	<ul style="list-style-type: none"> 意識改革が大事だと思いました。 	13	SDGs
10人未満	<ul style="list-style-type: none"> 今年の夏は非常に暑く熱中症で倒れる方も多くみられ、北海道にもエアコンが必要な場合が多いと思います。小中学校や市役所など公的機関はもちろん、年配の方の一人暮らし世帯にもエアコンが取り付けられるような制度や仕組みがあるとよいと思います。「エアコン基金」などとして各事業所から寄付を募るのはいかがでしょうか。 	14	地球環境・気候変動
10人未満	<ul style="list-style-type: none"> 堺町通りの大雨や冠水時の対策が急務と感じます。年々、大雨や冠水の回数が急増していますので、観光客はもちろん市民にも被害が及ぶ状況である。周辺の下水道の整備を急務にしないと、この地域一帯が水没することが目に見えます。 	10	地球環境・気候変動、災害対策
無回答	<ul style="list-style-type: none"> 歩くことが多いので、毎日歩いているが、道路の脇にゴミが目立つ。市議員に実態を見てもらう、また、拾ってもらったら良いのでは。 	9	景観
	4件		

※職業欄の番号について

9: 卸売業、小売業 10: 金融業、保険業 13: 宿泊業、飲食サービス業 14: 生活関連サービス業、娯楽業

【山手地区】

従業員規模 (事業所)	ご意見、提案等	業種	区分
10人未満	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人が働く職場を増やして欲しい。 	12	その他
	1件		

※職業欄の番号について

12: 学術研究、専門技術・サービス業

【南小樽地区】

従業員規模 (事業所)	ご意見、提案等	業種	区分
10人未満	・国道以外の市道の穴等の整備！	9	道路環境
10人未満	・古空家対策、人口の減少	5	まちづくり
10人未満	・環境事業活動を進める上で予算がないとか、お金がないという言い訳はしないでほしい	16	環境行政
10人未満	・大好きな小樽の町がより良い環境となる様に、住みやすい、住んでいて良かった、誇りに思える街に成長して行って頂きたい。 ・町内活動に参加する方が増え活動する中で、いろいろな発信をしていき、皆で活動できることが重要・最短のルートだと思うが、参加する人は年々減っている。魅力ある町内会を運営していく人材が必要だと思う。小・中・高の学生も授業を通じて教育していくのも一手だと思います。大変だと思いますが、行政の働きかけ(何度でも)が最重要だと思います。	9	まちづくり、 環境教育・環境情報
10人～19人	・目で見えてわかる効果内容が、もっと身近で体感できると、より意識高くなるのでは	18	環境行政
	5件		

※職業欄の番号について

5:製造業 9:卸売業、小売業 16:医療、福祉 18:サービス業(他に分類されないもの)

【銭函地区】

従業員規模 (事業所)	ご意見、提案等	業種	区分
10人未満	・コンポストの助成金を復活させてほしい。「利用者が少なかったから」という理由は言い訳に感じます。市側の促進努力が足りなかったのではと思います。	5	環境行政
10人未満	・観光地として街中や臨港線の歩道など雑草が伸びて見苦しい時がかなりある。写真撮影などで観光客がその画像を持ち帰ることから、まちのあり方が見えてしまうと感じる。(道の管轄かも知れませんが)また、銭函地区で、学童の登下校の道の土手にトリカブトの花がたくさん咲いています。以前は地域の方が注意喚起していましたが、すぐに手に取れる場なので気になっています。	9	景観
10人～19人	・生活環境部環境課のリーダーシップのもと、小樽市の環境行政が「小樽市環境基本計画」の理念に沿って、様々な課題を解決して実行されていくことを期待しています。	6	環境行政
20人～49人	・地球温暖化に取り込むことは、家庭レベルでみんなの課題として考えることが急務だと思います	5	地球環境・気候変動
	4件		

※職業欄の番号について

5:製造業 6:電気・ガス・熱供給・水道業 9:卸売業、小売業